

国内雑誌

- 1) 重度パーキンソン病患者に対する理学療法とその効果について（室内生活自立まで至った一症例を通して）
鈴木俊明、松本光晴、橋本靖子、内藤恵子
理療 18 (2)、136-138、1988
- 2) 正常人における安静時F波の基礎的研究
鈴木俊明、武田 功、藤原哲司
運動生理 4 (1)、17-20、1989
- 3) Biodek machine を用いた膝屈伸筋の筋出力について
武田 功、鈴木俊明
京都大学医療技術短期大学部紀要 9、22-27、1989
- 4) 健常者におけるF波の特性（等尺性収縮時および安静時における比較）
鈴木俊明、武田 功、藤原哲司
理学療法ジャーナル 24 (1)、49-52、1990
- 5) ギランバレー症候群に対する神経発達学的治療と機能的電気刺激の併用
鈴木俊明、武田 功、藤原哲司
理学療法 7 (6)、413-417、1990
- 6) 等尺性収縮度の変化および対側等尺性収縮におけるF波の検討
鈴木俊明、武田 功、藤原哲司
理学療法ジャーナル 25 (2)、125-128、1991
- 7) 等尺性収縮における疲労度の測定
武田 功、鈴木俊明、藤原哲司
理学療法学 18 (4)、429-434、1991
- 8) 近畿北部地区におけるスモン検診－3年間のまとめ－
藤原哲司、斎田恭子、中島正夫、高橋桂一、藤岡 宏、井上静子
相井平八郎、瀬古 敬、武田 功、鈴木俊明
平成2年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集
457-469

- 9) 後脛骨神経刺激による頸部脊髄誘発電位 －表面電極法による検討－
藤原哲司、武田 功、鈴木俊明、瀬古 敬
脊髄電気診断学 13 (1), 93-96, 1991
- 10) 刺激頻度の変化によるF波の反応性について
鈴木俊明、武田 功、藤原哲司
理学療法ジャーナル 26 (2), 123-125, 1992
- 11) 肘関節屈筋群の等尺性収縮が対側脊髄運動神経機能にあたえる影響
－F波における検討－
鈴木俊明、藤原哲司、武田 功
理学療法学 19 (4), 356-363, 1992
- 12) 近畿北部地区におけるスモン実態調査（平成3年度）
一神経障害・日常生活と Barthel Index－
藤原哲司、斎田恭子、能登 直、高橋桂一、藤岡晨宏、井上静子、相井平八郎、
瀬古 敬、武田 功、鈴木俊明
平成3年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集
513-523, 1992
- 13) スモン患者におけるF波の検討
藤原哲司、鈴木俊明、武田 功、
平成3年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集
117-121, 1992
- 14) 脊髄神経機能の興奮性に与える等尺性収縮の影響について
－F波における検討－
鈴木俊明、藤原哲司、武田 功
脊髄電気診断学 14 (1), 176-179, 1992
- 15) 本学理学療法学科卒業生における研究活動の実態（第1報）
岩月宏泰、井関朋子、細井順子、金井 章、遠山佳代、鈴木俊明、杉浦昌巳、
山田周子
名古屋大学医療技術短期大学部紀要 5, 151-156, 1993

16) 脳卒中片麻痺患者の安静時F波の特性

鈴木俊明、藤原哲司、武田 功

理学療法ジャーナル 27、277—281、1993

17) 等尺性収縮が脊髄運動神経機能の興奮性に与える影響

—健常中高齢者群、片麻痺群（非麻痺側）における検討—

鈴木俊明、藤原哲司、武田 功

理学療法学 20(4)、212—217、1993

18) スモンにおける痙性麻痺の電気生理学的検討

—上下肢のF波について—

藤原哲司、鈴木俊明、武田 功

平成4年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集

126—130、1993

19) スモン患者の知覚障害について

—誘発電位による脊髄上行性伝導の検討—

藤原哲司、鈴木俊明、武田 功

平成4年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集

99—104、1993

20) 近畿北部地区におけるスモン実態調査

—5年間のまとめ—

藤原哲司、斎田恭子、能登 直、高橋桂一、藤岡晨宏、柴崎 忍、相井平八郎

鈴木俊明、武田 功、井上静子、瀬古 敬

平成4年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集

568—576、1993

21) 脳血管障害片麻痺患者の麻痺側F波と随意運動機能の関係について

鈴木俊明、藤原哲司、武田 功

脊髄電気診断学 15、104—107、1993

22) 表面電極法による脊髄上行性伝導速度

—若年健常者の基準値—

藤原哲司、鈴木俊明、武田 功、瀬古 敬

脊髄電気診断学 15、116—119、1993

23) 表面電極法による上行性脊髄伝導速度 一若年健常者の基準値一

藤原哲司、鈴木俊明、武田 功、瀬古 敬

臨床脳波 36、173—181、1994

24) 電気刺激条件がサイレントピリオドに与える影響について

大工谷新一、鈴木俊明、武田 功、藤原哲司

運動生理 9、87—90、1994

25) 予測された外力に伴う筋活動の特性

佐藤正俊、鈴木俊明

京都理学療法士会会誌 23、17—19、1994

26) 脳血管障害片麻痺患者の脊髄運動ニューロンの興奮性

—F波の出現様式について—

鈴木俊明、藤原哲司、武田 功

脊髄電気診断学 16、130—133、1994

27) 低周波電気刺激前後のF波について

廣瀬浩昭、鈴木俊明、武田 功、藤原哲司、大工谷新一、廣瀬亜由美

日本生体電気刺激研究会誌 18、11—14、1994

28) スモンの脊髄運動ニューロンの興奮性に関する電気生理学的検討

—F波の出現様式について—

藤原哲司、鈴木俊明、武田 功

平成5年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集

108—113、1994

29) 近畿北部地区におけるスモン実態調査（平成5年度）

藤原哲司、斎田恭子、能登 直、高橋桂一、藤岡晨宏、柴崎 忍

相井平八郎、鈴木俊明、武田 功、瀬古 敬、岡本興一

平成5年度 厚生省特定疾患スモン調査研究班 研究業績集

548—555、1994

30) 等尺性収縮度とサイレントピリオドの関連性

大工谷新一、鈴木俊明、武田 功、藤原哲司

理学療法学 22、53—56、1995

31) 脳血管障害片麻痺患者のH波、F波出現様式

鈴木俊明、八瀬善郎、藤原哲司、大工谷新一、廣瀬浩昭

理学療法学 22、90—95、1995

32) 等尺性収縮度の変化における長潜時反射（L L R）の検討

廣瀬浩昭、鈴木俊明、大工谷新一、藤原哲司、武田 功、廣瀬亜由美

理学療法学 22、160—164、1995

33) つまみ力とH波との関係

藤善 将、鈴木俊明

作業療法 14、303—307、1995

34) F波出現を認めない脳血管障害片麻痺患者について

鈴木俊明、八瀬善郎、藤原哲司、大工谷新一、廣瀬浩昭

脊髄電気診断学 17、129—132、1995

35) 脳血管障害片麻痺患者の非麻痺側における脊髄運動神経機能

－振幅F／M比の変化について－

鈴木俊明、藤原哲司、武田 功

理学療法 12、315—320、1995

36) 双極導出と単極導出による筋積分量の比較

－等尺性収縮における検討－

廣瀬浩昭、鈴木俊明、大工谷新一

理学療法ジャーナル 30、133—136、1996

37) 擬似単極導出法による動作筋電図特性

鈴木俊明、廣瀬浩昭、大工谷新一、八瀬善郎、藤原哲司

理学療法 13、239—242、1996

38) 肢位変化が上肢脊髄運動神経機能の興奮性に与える影響

鈴木俊明、八瀬善郎、藤原哲司、大工谷新一、廣瀬浩昭

脊髄電気診断学 18、190—193、1996

39) ブリッジ動作における心拍血圧反応

中野和貴、佐藤正俊、三浦雄一郎、山野津幸、鈴木俊明

京都理学療法士会会誌、25、26—29、1996

40) 外力に伴う筋電図特性と歩容との関係 一脳卒中片麻痺患者の一症例を通して一

佐藤正俊、鈴木俊明

京都理学療法士会会誌、25、74—76、1996

41) 非麻痺側の過剰努力により機能低下を生じた陳旧例片麻痺患者の一症例

郷原君代、山野津幸、鈴木俊明

京都理学療法士会会誌、25、77—80、1996

42) 荷重肢位と中枢神経機能の関係について 一上肢での誘発筋電図における検討一

大工谷新一、廣瀬浩昭、今西吉一、鈴木俊明、藤原哲司

理学療法、14、64—67、1997

43) F波出現を認めなかった脳血管障害片麻痺患者の神経生理学的特性

鈴木俊明、八瀬善郎、藤原哲司、大工谷新一、廣瀬浩昭

理学療法学、24、16—22、1997

44) 攣縮性斜頸に対する鍼治療の効果 一筋電図学的検討一

谷万喜子、鍋田理恵、鈴木俊明、八瀬善郎

神経治療学、14、43—47、1997

45) 鍼刺激が対側自律神経機能の興奮性に与える影響

西岡 芳、小松あや、鍋田理恵、谷万喜子、鈴木俊明・若山育郎

関西鍼灸短期大学年報、第12巻 p.37-40、1997

46) サイレントピリオドと等尺性収縮度の関連性 一下肢における検討一

大工谷新一、鈴木俊明、廣瀬浩昭、今西吉一、藤原哲司

理学療法学、24、274—278、1997

47) 刺激強度の変化が長潜時反射（L L R）の反応性に及ぼす影響

廣瀬浩昭、鈴木俊明、大工谷新一、藤原哲司

理学療法学、24、335—340、1997

48) 鎮痛と東洋医学

鍋田理恵、谷 万喜子、鈴木俊明

理学療法ジャーナル、31、893-900、1997

49) 脳血管障害片麻痺患者における持続的筋伸張前後の脊髄神経機能の興奮性

鈴木俊明、八瀬善郎、大工谷新一、廣瀬浩昭、西口 悟、藤原哲司

脊髄電気診断学 19、125-128、1997

50) 黃耆建中湯および運動療法を併用して機能改善を認めた脊髄小脳変性症の一症例

—電気生理学的検討—

鈴木俊明、八瀬善郎、谷万喜子、若山育郎

日本東洋医学雑誌、48、451-457、1998

51) 脳血管障害片麻痺患者の麻痺側上肢筋伸張肢位と脊髄機能

鈴木俊明、鍋田理恵、谷万喜子、大工谷新一、廣瀬浩昭、西口 悟、谷埜予士次
藤原哲司

脊髄電気診断学、20、134-137、1998

52) 誘発筋電図とボバースアプローチ

鈴木俊明

ボバースジャーナル、21 (2)、1-7、1998

53) パーキンソン病の筋強剛と振戦に対する置鍼刺激の短期効果

鍋田理恵、谷 万喜子、鈴木俊明、八瀬善郎

神経治療学、15、513-519、1998

54) 等速性筋力強化訓練と敏捷性訓練の効果に関する電気生理学的検討

大工谷新一、鈴木俊明、廣瀬浩昭、西口 悟、谷埜予士次

第5回 Body Composition 研究会論文集 1-6、1998

55) 最大下等尺性収縮維持による筋疲労とM波面積の関係 —ヒラメ筋における検討—

谷埜予士次、大工谷新一、廣瀬浩昭、西口 悟、鈴木俊明

疲労と休養の科学、13、75-80、1998

56) 多発性脳梗塞に対し認知運動療法が有効であった一症例

郷原君代、山内紀子、西岡陽子、黒川 豊、佐藤正俊、鈴木俊明

京都理学療法士会誌、27、34-40、1998

57) 大腿骨頸部骨折に対する認知運動療法の試み

西岡陽子、郷原君代、山内紀子、黒川 豊、佐藤正俊、鈴木俊明

京都理学療法士会誌、27、51-56、1998

58) 慢性腰痛症の運動療法

三浦雄一郎、渡邊裕文、吉田恵子、吉田星子、大沼俊博、鈴木俊明

理学療法ジャーナル、33、209-214、1999

59) 脳血管障害患者の麻痺側肘関節屈筋群の筋伸張は短母指外転筋の筋緊張抑制に関与する
—H波による検討—

鈴木俊明、鍋田理恵、谷万喜子、大工谷新一、廣瀬浩昭、西口 悟、谷埜予士次

大阪府理学療法士会誌、27、29-32、1999

60) 関西鍼灸短期大学における攣縮性斜頸患者の鍼治療の現状とその効果検討

鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、八瀬善郎

関西鍼灸短期大学年報、14、51-57、1998

61) 攣縮性斜頸患者に対する鍼治療効果

—安静椅坐位および頸部動作時における表面筋電図による効果—

谷 万喜子、鍋田理恵、鈴木俊明、若山育郎、八瀬善郎

関西鍼灸短期大学年報、14、62-76、1998

62) 脳血管障害片麻痺患者に対する陽陵泉穴への置鍼刺激による鍼治療の効果

鍋田理恵、谷 万喜子、鈴木俊明、若山育郎、八瀬善郎

関西鍼灸短期大学年報、14、77-82、1998

63) 脳血管障害片麻痺患者の麻痺側肘関節屈筋群の筋伸張前後における短母指外転筋、母指
対立筋H波変化

鈴木俊明、大工谷新一、廣瀬浩昭、西口 悟、谷埜予士次、谷万喜子、鍋田理恵、
若山育郎、藤原哲司、才藤栄一

脊髄電気診断学 21、117-120、1999

64) 体表電極による脊髄機能の評価方法の検討

瀬古 敬、今井忠彦、森 一樹、白数和則、向井照二、鈴木俊明、藤原哲司

脊髄電気診断学 21、89-92、1999

65) 高齢脳血管障害片麻痺患者への鍼治療効果に関する調査・実験的研究

鈴木俊明、鍋田理恵、谷 万喜子、若山育郎

大和証券ヘルス財団研究業績集 23、89-94、2000

66) 反射

鈴木俊明、才藤栄一

総合リハビリテーション 28、515-520、2000

67) 機器を用いた運動解析と動作分析 一動作分析と表面筋電図を用いた運動解析の関連性—

大工谷新一、西守 隆、鈴木俊明

理学療法ジャーナル 34、425-429、2000

68) 攣縮性斜頸の鍼治療

鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、八瀬善郎

神経内科 53、20-27、2000

69) 攣縮性斜頸患者の運動療法と表面筋電図学的効果検討

鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、八瀬善郎、李 華良、

大工谷新一、廣瀬浩昭

関西鍼灸短期大学年報 15、62-69、2000

70) 下肢の随意運動が上肢脊髄神経機能の興奮性に与える影響

嘉戸直樹、鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、大工谷新一

関西鍼灸短期大学年報 15、70-74、2000

71) 病院勤務の理学療法士における精神的健康の評価

岩月宏泰、鈴木俊明、内山 靖、杉浦昌巳

月刊 総合ケア 10、61-64、2000

72) 理学療法学生における「老年者」イメージの要因分析

岩月宏泰、安田雅美、内山 靖、鈴木俊明、岩月順子

東北理学療法学 12、1-5, 2000

73) 下肢伸展挙上動作が腹筋群の筋積分値に与える影響

—股関節外転角度の変化による検討—

大沼俊博、渡邊裕文、三浦雄一郎、吉田星子、鈴木俊明

京都理学療法士会会誌 29、48-51、2000

74) 誘発筋電図 (F波、H波) の検査方法に関するガイドライン

—国際臨床神経生理学会の報告から—

鈴木俊明、才藤栄一

理学療法科学 15、187-192、2000

75) 脳血管障害片麻痺患者の下肢随意運動で出現する麻痺側上肢の連合運動に関する脊髄神経機能

鈴木俊明、大工谷新一、廣瀬浩昭、西口 悟、谷埜予士次、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、藤原哲司、才藤栄一

脊髄電気診断学 22、123-126、2000

76) 誘発筋電図

鈴木俊明

理学療法研究への誘い (ハズキの会論文集)、18-26、2000

77) 発表の手順

鈴木俊明

理学療法研究への誘い (ハズキの会論文集)、91-92、2000

78) 痙縮とシナプス前抑制

鈴木俊明、才藤栄一

関西鍼灸短期大学年報第16号、86-92、2001

79) 下肢の随意運動時における上肢脊髄神経機能の興奮性の変化—脳血管障害片麻痺患者及び健常者における検討—

嘉戸直樹、岩永優子、鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、大工谷新一

関西鍼灸短期大学年報第16号、93-97、2001

80) 攣縮性斜頸患者の頸部動作とともに現れる筋活動パターンと筋電図反応時間

高田あや、谷 万喜子、鍋田理恵、鈴木俊明、若山育郎、八瀬善郎

関西鍼灸短期大学年報第16号、98-104、2001

- 81) 病院理学療法士におけるバーンアウトとその関連要因
岩月宏泰、鈴木俊明、内山 靖、杉浦昌己
保健の科学、577-582, 2001
- 82) 攣縮性斜頸患者に対する鍼治療－筋電図評価を用いた効果検討－
鈴木俊明
全日本鍼灸学会雑誌. 51:575-577, 2001
- 83) 脳血管障害片麻痺患者の痙攣と連合反応
鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎
関西理学. 1:35-41, 2001
- 84) 上腕骨頸上骨折後患者における筋電図評価と運動療法効果の検討
大沼俊博、渡邊裕文、鳶谷星子、三好裕子、鈴木俊明
関西理学療法. 1:53-58, 2001
- 85) 理学療法士養成校の学内教育における「健常者の動作観察」の必要性
—関西医療学園専門学校理学療法学科における実践報告—
鈴木俊明、西守 隆、高崎恭輔
関西鍼灸短期大学年報 第17号、23-27, 2002
- 86) 攣縮性斜頸患者の連續頸部回旋動作における筋電図パターン変化 一障害度の異なる
2症例での比較検討
鈴木俊明、谷 万喜子、高田あや、飯塚朋子、鍋田理恵、大工谷新一、若山育郎、八瀬
善郎
関西鍼灸短期大学年報 第17号、18-22, 2002
- 87) 体幹の偏倚を伴った攣縮性斜頸患者に対する鍼治療
飯塚朋子、谷 万喜子、高田あや、鈴木俊明、若山育郎、八瀬善郎
関西鍼灸短期大学年報第17号、90-96, 2002
- 88) 動作分析が重要であった右大腿骨骨折患者に対する運動療法と筋電図学的効果検討
米田浩久、鈴木俊明
関西鍼灸短期大学年報第17号、79-89, 2002

89) 重度の閉口障害を認めた開口ジストニア患者に対する鍼治療効果の検討

高田あや、鈴木俊明、谷 万喜子、飯塚朋子、鍋田理恵、大工谷新一、若山育郎、八瀬善郎

関西鍼灸短期大学年報第 17 号、102—107、2002

90) 脳血管障害片麻痺患者の下肢随意運動が非麻痺側上肢脊髄神経機能に与える影響

嘉戸直樹、鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、大工谷新一

関西鍼灸短期大学年報第 17 号、97—101、2002

91) 正常動作の神経機構

鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、吉田宗平

関西理学. 2 : 1—9、2002

92) 脳卒中片麻痺症患者の麻痺側上肢に対する理学療法 —麻痺側上肢挙上保持評価に着目して

大沼俊博、渡邊裕文、鳴谷星子、三好裕子、山口剛司、鈴木俊明

関西理学. 2 : 103—107、2002

93) 体幹筋の筋緊張異常により歩行に問題を認めた脳血管障害片麻痺患者の運動療法と筋電図学的効果検討

米田浩久、鈴木俊明

関西理学. 2 : 113—120、2002

94) 様々な西洋医学的治療が無効であった頸部ジストニア患者に対する鍼治療

飯塚朋子、谷 万喜子、高田あや、鈴木俊明、若山育郎、吉田宗平

関西理学. 2 : 127—132、2002

95) 斜角筋が問題となった頸部ジストニア患者に対する鍼治療

井上博紀、谷 万喜子、高田あや、飯塚朋子、鈴木俊明、若山育郎、吉田宗平

関西理学. 2 : 133—138、2002

96) 脳血管障害片麻痺患者の痙攣の病態生理と持続的筋身長を用いた治療効果に関する筋電図学的検討

鈴木俊明

藤田学園医学会誌 臨時増刊. 21:269-290.2002

97) 姿勢・筋緊張異常の検査・測定

鈴木俊明、大工谷新一、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、吉田宗平
理学療法 20 : 105-113. 2003

98) 中高年者の中運動アドヒアラנסに影響する因子に関する研究 一民間フィットネスク
ラブ1施設における検討一

大工谷新一、鈴木俊明、原田宗彦
理学療法学. 30 : 48-54. 2003

99) 和歌山県におけるスモン患者の現状と鍼灸受診状況

吉田宗平・谷 万喜子・鍋田理恵・飯塚朋子・鈴木俊明
厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班
平成14年度 総括・分担研究報告書. 67-70. 2003

100) 和歌山県スモン患者の歩行能力とリハビリテーションアプローチ

吉田宗平・鈴木俊明・谷 万喜子・鍋田理恵・飯塚朋子
厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班
平成14年度 総括・分担研究報告書. 91-93. 2003

101) 電気生理学的検査マニュアル F波, H波, 長潜時反射

鈴木俊明・才藤栄一
Monthly book Medical Rehabilitation. 29 : 51-59. 2003

102) 脳血管障害片麻痺患者の痙攣の病態生理とその評価

鈴木俊明・才藤栄一・谷 万喜子・鍋田理恵、若山育郎、吉田宗平
ボバースジャーナル 26-1 : 60-64. 2003

103) 皮質下と関節運動制御

鈴木俊明、大工谷新一、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、吉田宗平
アスレティックリハビリテーション. 4 : 7-13. 2003

104) 鍼治療と mianserin が奏功した頸部ジストニアを生じたうつ病の一例

分野正貴、柳生隆視、谷 万喜子、入澤 聰、鈴木俊明、木下利彦
精神科治療学. 18(7) : 811-6. 2003

105) 鍼灸院で応用できるパーキンソン病に対する理学療法のアプローチ 一歩行機能

改善に注目して—

鈴木俊明, 谷 万喜子, 米田浩久, 金井一暁
医道の日本. 62(13) : 37-42. 2003

106) 理学療法 —統合医療へ向けての役割

鈴木俊明
マニピュレーション. 18(4) : 38-44. 2003

107) 動作観察・動作分析

鈴木俊明, 西守 隆
関西理学. 3 : 33-9. 2003

108) 股関節外転位下肢伸展挙上保持における骨盤の働きと腹筋群の筋積分値との関係
—非挙上側下肢屈曲位での検討—

大沼俊博, 渡邊裕文, 薦谷星子, 三好裕子, 山口剛司, 藤本将志, 赤松圭介,
若林志保子, 鈴木俊明
関西理学. 3 : 101-4. 2003

109) 健常者の前方ステップ動作における腰背筋の筋活動特性

金井一暁, 米田浩久, 鈴木俊明
関西理学. 3 : 105-10. 2003

110) 肩関節輪転器を用いた運動療法に関する一考察 —運動方向の違いにおける筋電
図学的検討—

福島秀晃, 三浦雄一郎, 布谷美樹, 田中伸幸, 山本栄里, 鈴木俊明
関西理学. 3 : 111-7. 2003

111) 歩行で過度の体幹の側方傾斜および回旋を認めた体幹ジストニア患者に対する運
動療法の筋電図学的效果検討

米田浩久, 鈴木俊明
関西理学. 3 : 119-25. 2003

112) 動作分析と東洋医学的観点から考察した書痙攣患者 2症例に対する鍼治療

井上博紀、谷 万喜子、高田あや、飯塚朋子、鈴木俊明、若山育郎、吉田宗平
関西理学. 3 : 127-31. 2003

- 113) 脳血管障害片麻痺患者における座位での側方重心移動を用いた治療の一考察
山口剛司, 渡邊裕文, 蔦谷星子, 大沼俊博, 三好裕子, 赤松圭介, 藤本将志,
若林志保子, 鈴木俊明
関西理学. 3 : 139-44. 2003
- 114) 動作筋電図を用いて治療を展開した腰椎椎間板ヘルニアの一症例 —運動療法による効果とその限界—
三浦雄一郎, 鈴木俊明
マニピュレーション. 19(1) : 8-14. 2003
- 115) ボツリヌス治療後に頸部の異常姿勢が残存した頸部ジストニア患者1症例に対する鍼治療
谷 万喜子, 鈴木俊明, 若山育郎, 吉田宗平
マニピュレーション. 19(1) : 21-7. 2004
- 116) 重度の感覚障害によって歩行に問題を認めた慢性期脳血管障害片麻痺患者の運動療法と重心動搖並びに筋電図学的検討—感覚刺激の重要性について—
中塚和樹, 米田浩久, 鈴木俊明
関西鍼灸大学紀要. 1 : 71-78. 2004
- 117) 体幹筋の筋緊張異常により歩行時に麻痺側体幹に著しい前後方向への崩れを認めた左片麻痺患者に対する運動療法と筋電図学的検討
入来宏光, 米田浩久, 鈴木俊明
関西鍼灸大学紀要. 1 : 79-84. 2004
- 118) 体幹アプローチが歩容改善に重要であった脳血管障害片麻痺患者の運動療法と筋電図学的效果検討
松岡成治, 米田浩久, 鈴木俊明
関西鍼灸大学紀要. 1 : 85-91. 2004
- 119) 早期に改善を認めた書痙攣患者1症例に対する鍼治療
井上博紀, 谷 万喜子, 高田あや, 鈴木俊明, 若山育郎
関西鍼灸大学紀要. 1 : 59-63. 2004
- 120) 重度頸部右回旋および不随意運動を呈した頸部ジストニア患者に対する鍼治療
高田あや, 谷 万喜子, 井上博紀, 鈴木俊明, 若山育郎, 柳生隆視, 木下利彦

関西鍼灸大学紀要. 1 : 53-58. 2004

121) 体幹筋筋活動の改善が頸部機能に改善を認めた頸部ジストニア患者の一症例

米田浩久, 鈴木俊明

関西鍼灸大学紀要. 1 : 64-70. 2004

122) 脳血管障害片麻痺患者の痙性期に対する理学療法－下肢機能に着目して－

渡邊裕文, 鈴木俊明

ボバースジャーナル. 27(1) : 2-7. 2004

123) 筋電図

鈴木俊明

理学療法ジャーナル. 38 : 56. 2004

124) 痢縮に対する東洋医学的治療

鈴木俊明・谷 万喜子

Monthly book Medical Rehabilitation. 43 : 73-81. 2004

125) 理学療法における神経機能面から捉えた高齢者診療の今日と今後のあり方

鈴木俊明

マニピュレーション. 19 (3) : 20-25. 2004

126) 臨床実習の総合評価に影響を及ぼす要因に関する研究

大工谷新一・谷埜予士次・西守 隆・高崎恭輔・金井一暁・廣瀬亜由美・廣瀬浩昭・坂本隆弘・三原 修・鈴木俊明

理学療法科学. 19 : 223-227. 2004

127) 片脚立位時における骨盤運動と下肢筋活動について

－支持脚足部外側ウェッジの有無と非支持脚股関節屈曲角度変化による検討－

西守 隆・大工谷新一・廣瀬浩昭・谷埜予士次・高崎恭輔・鈴木俊明

総合リハビリテーション. 32 : 981-986. 2004

128) 和歌山県スモン患者の歩行能力とリハビリテーション

－ファンクショナルリーチテストを用いた検討－

吉田宗平・鈴木俊明・中吉隆之・池藤仁美・吉益文夫

厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班

平成15年度 総括・分担研究報告書. 106-108. 2004

129) 和歌山県下鍼灸師のスモン患者治療状況と今後の課題

—スモン患者の QOL 向上を目的として—

吉田宗平・中吉隆之・鈴木俊明・池藤仁美・吉益文夫

厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班

平成15年度 総括・分担研究報告書. 153-155. 2004

130) 理学療法とスポーツ・コンディショニング

谷埜予士次・大工谷新一・鈴木俊明

マニピュレーション. 19 (4) : 44-50. 2004

131) 反射運動の筋電図学的評価 —F 波・T 波—

鈴木俊明・才藤栄一・藤原哲司

理学療法. 21 : 1381-1391. 2004

132) ここまでわかった鍼灸医学：基礎と臨床との交流

—筋疾患および筋機能・代謝における鍼灸の効果と現状—

尾崎昭弘、若山育郎、田中秀明、鈴木俊明、新原寿志

全日本鍼灸学会雑誌. 54 : 698-716. 2004

133) 問題点の予測の仕方

鈴木俊明

関西理学. 4 : 1-3. 2004

134) 臨床動作促通法 —CMFM (Clinical Motion Facilitation Method)—

鈴木俊明・渡邊裕文・後藤 淳・米田浩久・金井一暁・田淵 愛

関西理学. 4 : 65-70. 2004

135) 脳血管障害片麻痺患者における体幹筋の二次的に引き起こる筋短縮が筋緊張異常に及ぼす影響

松岡成治・米田浩久・鈴木俊明

関西理学. 4 : 87-96. 2004

136) トルクカーブの分析による運動技能評価の試み

高崎恭輔・谷埜予士次・西守 隆・金井一暁・大工谷新一・鈴木俊明

関西理学. 4 : 103-108. 2004

137) 書症患者に対する鍼治療効果 一描画動作と筆圧による検討一

井上博紀・谷 万喜子・高田あや・赤川淳一・鈴木俊明・若山育郎・吉田宗平

関西理学. 4 : 115-121. 2004

138) 体幹筋、特に内腹斜筋へのアプローチにより座位保持の安定性に改善が認められた脳幹出血後遺症患者に対する一考察

金井一暁・米田浩久・鈴木俊明

関西理学. 4 : 123-129. 2004

139) 慢性期脳血管障害片麻痺患者の上肢の運動療法と筋電図学的検討

中塚和樹・米田浩久・鈴木俊明

関西理学. 4 : 137-143. 2004

140) ジストニアの鍼治療と局所脳血流 一eZIS・3DSRTを用いた評価一

河 相吉・吉田常孝・柳生隆視・谷 万喜子・鈴木俊明・澤田 敏

映像情報 MEDICAL. 36 : 1380-1384. 2004

141) 立位での一側下肢挙上動作における足底圧中心軌跡と下肢筋筋活動の立ち上がり

潜時について—テーピングによる横足根関節可動域制限の有無における検討—

西守 隆・大工谷新一・谷埜予士次・高崎恭輔・鈴木俊明

理学療法科学. 20 : 17-23. 2005

142) 頸肩腕症候群に対するマッサージ治療

大沼俊博・渡邊裕文・鈴木俊明

マニピュレーション. 20 (2) : 8-14. 2005

143) 立位での右下肢の前後ステップ動作時における腹筋群筋活動の検討

米田浩久・鈴木俊明

関西鍼灸大学紀要. 2 : 42-49. 2005

144) 動作分析に動作筋電図検査を用いた小脳出血の一症例

弓永久哲・三浦雄一郎・鈴木俊明

関西鍼灸大学紀要. 2 : 54-61. 2005

145) 罹病期間が長期の頸部ジストニア患者に対する鍼治療

—心理的要因が関与した一症例—

高田あや、谷 万喜子、井上博紀、赤川淳一、鈴木俊明、若山育郎、吉田宗平

関西鍼灸大学紀要. 2 : 62-66. 2005

146) 体幹および下肢に著明な不随意運動を認めた多発性硬化症患者の不随意運動に対する表面筋電図学的検討

金井一暁・鈴木俊明

関西鍼灸大学紀要. 2 : 67-74. 2005

147) 両側立脚中期から後期にかけて前方への円滑な体重移動が困難であった多発性神経炎患者に対する運動療法 一体幹・骨盤の動きに着目することの重要性—

入來宏光・米田 浩久・鈴木 俊明

関西鍼灸大学紀要. 2 : 75-81. 2005

148) 治療として立位での側方移動が重要であった脳血管障害片麻痺患者に対する筋電図学的検討

松岡成治・米田浩久・鈴木俊明

関西鍼灸大学紀要. 2 : 82-88. 2005

149) 分廻し歩行を呈する右片麻痺患者における歩行時の麻痺側離床動作と体幹筋の活動について

森 健浩・米田 浩久・鈴木 俊明

関西鍼灸大学紀要. 2 : 89-94. 2005

150) 足部内反尖足により歩行困難であった脳血管障害片麻痺患者

古賀和美、米田浩久、鈴木俊明

関西鍼灸大学紀要. 2 : 95-100. 2005

151) 両側足底の感覚が重度鈍麻で立位姿勢と歩行動作に問題が認められた多発神経炎患者の一症例

丸岡純子、中塚和樹、松岡成治、米田浩久、鈴木俊明

関西鍼灸大学紀要. 2 : 101-107. 2005

152) 内腹斜筋へのアプローチにより座位保持の安定性に改善がみられた脳幹出血後遺症患者に対する一考察

金井一暁、米田浩久、鈴木俊明

大阪府理学療法士会誌. 33 : 37-43. 2005

153) 統合失調症治療中に発症した重度の軸性ジストニアに対する鍼治療効果

谷 万喜子、鈴木俊明、高田あや、柳生隆視、木下利彦

精神神経学雑誌. 107 : 802-810. 2005

154) マッサージによるアプローチ 一近年の手技のあらましと一症例にみる考察

福島秀晃、三浦雄一郎、鈴木俊明

マニピュレーション. 20 (4) : 62-69. 2005

155) 脊髄の運動制御機構

鈴木俊明

関西理学. 5 : 1-9. 2005

156) セラピストのための身体操作

魚住 心、鈴木俊明

関西理学. 5 : 77-82. 2005

157) 非麻痺側腰背筋の筋緊張亢進により、麻痺側上肢に著明な連合反応が誘発された

脳血管障害患者に対する筋電図学的検討

弓永久哲、鈴木俊明、米田浩久、若山育郎

関西理学. 5 : 83-89. 2005

158) 端座位における側方への一側手支持が体幹筋の筋活動に与える影響

藤本将志、渡邊裕文、鳶谷星子、大沼俊博、三好裕子、赤松圭介、中道哲朗、

鈴木俊明

関西理学. 5 : 91-95. 2005

159) 非利き手の運動課題による聴覚刺激に対する筋電図反応時間— 一側および両側

刺激と刺激回数変化における検討—

伊藤正憲、弓永久哲、鈴木俊明

関西理学. 5 : 97-101. 2005

160) 上部体幹の可動性低下により体幹筋の機能不全が生じた脳血管障害患者の一症例

弓永久哲、鈴木俊明、若山育郎

関西理学. 5 : 109-118. 2005

161) 腹斜筋および中殿筋の筋緊張異常によって歩行の実用性に問題を認めたウイルス

性脳炎後遺症患者について

坂田真未、金井一暁、鈴木俊明

関西理学. 5 : 119-124. 2005

162) 正常動作と異常動作

鈴木俊明

理学療法. 25 : 1-10. 2005

163) 関西理学療法学会 座談会 私が大切にしている基礎理論

鈴木俊明

関西理学. 5:51-72.2005

164) アシュワーススケール

鈴木俊明

理学療法ジャーナル. 39:65.2005

165) 和歌山県スモン患者における座位・立位の前方移動能力の経年変化

吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之、吉益文夫

スモンに関する調査研究班 平成 17 年度総括・分担研究報告書. 97-100. 2006

166) 動作習得前後における右下肢のステップ動作時での体幹筋筋活動の検討

米田浩久、鈴木俊明

関西鍼灸大学紀要. 3 : 40-47. 2006

167) 筋緊張の評価と治療

鈴木俊明

理学療法学. 33 : 180-186. 2006

168) 骨盤挙上時における腰背筋群の等尺性収縮が同側上肢脊髄運動神経機能に与える

影響 —F 波における検討—

弓永久哲、鈴木俊明

総合リハビリテーション. 34 : 577-584. 2006

169) 聴覚刺激に対する筋電図反応時間の検討
—単耳および両耳刺激と刺激回数変化に着目して—
伊藤正憲、弓永久哲、鈴木俊明
総合リハビリテーション. 34 : 889-893. 2006

170) どのように治療法を選択するか
鈴木俊明
関西理学. 6 : 1-4. 2006

171) 小脳外側部の圧迫によって視覚性記憶障害を呈した失調症患者の一症例
岩城隆久、鈴木俊明、小渕恭輔、宮澤茉衣
関西理学. 6 : 69-75. 2006

172) 立位における骨盤後傾角度変化が大腿筋膜張筋、大腿二頭筋および内側広筋の筋電図積分値に及ぼす影響
中道哲朗、渡邊裕文、大沼俊博、赤松圭介、藤本将志、鈴木俊明
関西理学. 6 : 77-83. 2006

173) 座位での側方移動における僧帽筋の機能に関する一考察
福島秀晃、三浦雄一郎、鈴木俊明
関西理学. 6 : 85-89. 2006

174) 投球動作ワインドアップ期の安定性と制球力の関係について
—体幹傾斜角度の変動に着目して—
高崎恭輔、大工谷新一、鈴木俊明
関西理学. 6 : 97-101. 2006

175) 左合谷への鍼刺激が左胸鎖乳突筋の反応時間に与える影響について
酒井英謙、谷 万喜子、西村栄津子、上田 愛、福島綾子、井上博紀、高田あや、鈴木俊明
関西理学. 6 : 103-107. 2006

176) 肩関節可動域制限に対する鍼治療と運動療法の効果検討
—肩関節外転運動時の棘上筋の筋活動促通方法—
福島綾子、谷 万喜子、高田あや、鈴木俊明
関西理学. 6 : 109-115. 2006

- 177) 麻痺側足部の治療により歩行動作の改善が見られた脳血管障害片麻痺患者についての一考察
龍神正導、弓永久哲、米田浩久、鈴木俊明
関西理学. 6 : 145-150. 2006
- 178) 長期の補装具使用による片麻痺患者の歩行動作への影響
竹島知江、仙波正博、米田浩久、弓永久哲、鈴木俊明
関西理学. 6 : 151-156. 2006
- 179) 姿勢変化による上肢脊髄運動神経機能の興奮性の変化
弓永久哲、鈴木俊明
総合リハビリテーション. 35 : 373-378. 2007
- 180) 荷重量変化における上肢脊髄運動神経機能の興奮性の変化
弓永久哲、鈴木俊明
総合リハビリテーション. 35 : 595-600. 2007
- 181) 和歌山県スモン患者における足関節背屈可動域と座位・立位の前方移動能力
吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之、吉益文夫
スモンに関する調査研究班 平成18年度総括・分担研究報告書. 110-112. 2007
- 182) タイミング同期動作における同期誤差・筋積分値・動作角度の推移特性
—連続刺激による刺激回数の増加が及ぼす影響—
伊藤正憲、嘉戸直樹、弓永哲久、鈴木俊明
総合リハビリテーション. 35 : 719-723. 2007
- 183) 臨床研究のマネジメント
鈴木俊明
関西理学. 7 : 7-11. 2007
- 184) アンダースロー投法の動作分析
—「動作中の関節運動が持つ意味」に着目して—
高崎恭輔、大工谷新一、鈴木俊明
関西理学. 7 : 43-49. 2007

- 185) 頭頸部に着目した身体操作—アレクサンダー・テクニックの考えに基づいて—
魚住 心、渡邊裕文、鈴木俊明
関西理学. 7 : 51-53. 2007
- 186) 立位における側方への体重移動の変化が移動側大殿筋の筋電図積分値に及ぼす影響
—大殿筋上部線維と下部線維の作用に関する検討—
藤本将志、渡邊裕文、鳴谷星子、大沼俊博、三好裕子、赤松圭介、中道哲朗、
鈴木俊明
関西理学. 7 : 71-74. 2007
- 187) 肩関節屈曲保持角度における三角筋筋活動—屈曲角度と書く筋線維との関係—
布谷美樹、森原徹、三浦雄一郎、福島秀晃、鈴木俊明
関西理学. 7 : 81-84. 2007
- 188) 健常者における一侧下肢の前後ステップ動作での体幹筋筋活動
—前方ステップと後方ステップにおける検討—
米田浩久、鈴木俊明
関西理学. 7 : 85-90. 2007
- 189) 鍼治療が頸部ジストニア患者の心理的問題に与える影響
高田あや、谷 万喜子、井上博紀、吉野真紀、鈴木俊明、若山育郎、吉田宗平、
柳生隆視、木下利彦
関西理学. 7 : 91-96. 2007
- 190) 書瘡を含む上肢ジストニア1症例に対する鍼治療効果
—書字評価テストと筆圧測定による検討—
井上博紀、谷 万喜子、西村栄津子、高田あや、鈴木俊明、吉田宗平
関西理学. 7 : 97-104. 2007
- 191) ポバースアプローチと EBM
鈴木俊明
ポバースジャーナル. 30 : 104-108. 2007
- 192) 座位における体幹機能—脳血管障害患者への応用—
渡邊裕文、鈴木俊明

理学療法 28 : 15-21. 2008

193) WCPT のサブグループと日本の理学療法の展望

IAAPT と日本の理学療法の展望

鈴木俊明、谷 万喜子

PT ジャーナル 42 : 205-208. 2008

194) 和歌山県スモン患者における立位の前方移動能力と歩行機能との関係

吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之、米田浩久、吉益文夫

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）スモンに関する調査研究班

平成 19 年度 総括・分担研究報告書. 84-87. 2008

195) 崑崙への鍼刺激がヒラメ筋のH波に与える影響

酒井英謙、谷埜予士次、高田あや、谷 万喜子、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 2 : 20-25. 2008

196) 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージの効果には性差があるか

—F 波を用いた検討—

鈴木俊明、谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、鬼形周恵子、塩見紀子、谷 万喜子

関西医療大学紀要. 2 : 26-31. 2008

197) レッグエクステンションを行う際に骨盤の肢位はどのようにすべきか？

谷埜予士次、福島綾子、酒井英謙、高崎恭輔、米田浩久、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 2 : 32-37. 2008

198) 非利き手によるボーリング投球動作を用いた言語的 KR の運動学習効果について

米田浩久、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 2 : 74-78. 2008

199) ピアニストの musician's cramp に対する鍼治療効果

井上博紀、谷 万喜子、高田あや、西村栄津子、酒井英謙、鈴木俊明、吉田宗平

関西医療大学紀要. 2 : 79-84. 2008

200) コッキング期での投球側肘関節屈曲角度増大により、右打者内角球の球速が増し

たアンダースロー投手

高崎恭輔、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 2 : 97-102. 2008

201) クラリネット奏者の局所性ジストニアに対する鍼治療効果

福島綾子、谷 万喜子、井上博紀、高田あや、鈴木俊明、吉田宗平

関西医療大学紀要. 2 : 103-108. 2008

202) 肩関節屈曲と外転における鎖骨・肩甲骨の運動 一標移動分析を用いた検討一

三浦雄一郎、森原 徹、福島秀晃、鈴木俊明

総合リハ. 36 : 877-884. 2008

203) 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージは脊髄神経機能を増加させる

鈴木俊明、谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、鬼形周恵子、谷 万喜子

脊髄機能診断学 30 : 100-103. 2008

204) 慢性期脳出血後右片麻痺患者の実用的歩行にむけて

渡邊裕文、鈴木俊明

ボースジャーナル. 31 : 101-104. 2008

205) 身のまわり動作と生活関連動作を考える

鈴木俊明

関西理学. 8 : 1-5. 2008

206) 車の運転動作を考える

高崎恭輔、米田浩久、山口剛司、鈴木俊明

関西理学. 8 : 35-41. 2008

207) 患者を重心移動させる際にセラピストが行う身体操作

魚住 心、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 8 : 53-55. 2008

208) 座位での側方移動距離の変化が広背筋の筋電図積分値に及ぼす影響

一広背筋上部線維・下部線維に着目して一

安井重男、藤本将志、渡邊裕文、大沼俊博、赤松圭介、中道哲朗、鈴木俊明

関西理学. 8 : 69-73. 2008

209) 立位姿勢の足底圧中心位置の違いが着座動作の姿勢制御に与える影響について

藤井隆太、高木綾一、山口剛司、高崎恭輔、大工谷新一、鈴木俊明
関西理学. 8 : 85-94. 2008

210) 頸部および体幹に偏倚を認めた薬剤性ジストニアに対する1回の鍼治療効果

西村栄津子、酒井英謙、谷 万喜子、鈴木俊明
関西理学. 8 : 101-105. 2008

211) 全国勉強会紹介 大阪臨床生理理学療法研究会

鈴木俊明
理学療法ジャーナル. 42:230.2008

212) 肩関節屈曲における前鋸筋下部線維、僧帽筋下部繊維への選択的運動療法の試み

福島秀明、森原 徹、三浦雄一郎、鈴木俊明
総合リハビリテーション. 37 : 145-150. 2009

213) 骨盤肢位の違いとレッグエクステンション中の大腿四頭筋の筋活動

谷埜予士次、高崎恭輔、大工谷新一、鈴木俊明
総合リハビリテーション. 37 : 565-571. 2009

214) 経穴刺激理学療法の効果とその中高年に対する臨床応用に関する筋電図による
検討

鈴木俊明、谷 万喜子
大阪ガスグループ福祉財団研究報告書. 22 : 69-75. 2009

215) 肩関節屈曲と外転時の肩甲骨運動の特徴と肩甲骨周囲筋との関連性

三浦雄一郎、森原 徹、福島秀晃、鈴木俊明
総合リハビリテーション. 37 : 649-655. 2009

216) 膝伸展疲労課題中の内側広筋斜頭および長頭の機能に関する筋電図学的検討

谷埜予士次、大工谷新一、鈴木俊明
体力科学. 58 : 441-452. 2009

217) 座標移動分析法が肩甲骨運動プログラム作成に有効であった前鋸筋麻痺の1症例

加古原彩、森原 徹、三浦雄一郎、福島秀晃、鈴木俊明
総合リハビリテーション 37、951-955、2009

218) 崑崙穴への経穴刺激理学療法におけるヒラメ筋 H 波変化

鈴木俊明、谷 万喜子、鬼形周恵子、米田浩久、谷埜予士次、高崎恭輔

関西医療大学紀要. 3 : 7-12. 2009

219) 膝伸展疲労課題と膝伸筋群の筋電図特性について

谷埜予士次、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 3 : 13-20. 2009

220) 養成校入学時における理学療法における認知度

谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、塩見紀子、鬼形周恵子、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 3 : 149-153. 2009

221) 本学理学療法学科 1 年生に対する OSCE 結果についての検討

—合格者による達成度について—

米田浩久、谷埜予士次、高崎恭輔、鈴木俊明、湯浅亮一

関西医療大学紀要. 3 : 154-160. 2009

222) 非利き手でのボーリング投球動作を用いた言語的 KR 府付与における運動学習時の運動再現性の検討

米田浩久、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 3 : 48-53. 2009

223) 理学療法学科 2 年次短期実習の報告

—学生情報の伝達に関する本実習での試みについて—

高崎恭輔、谷埜予士次、米田浩久、鈴木俊明、湯浅亮一

関西医療大学紀要. 3 : 135-139. 2009

224) 運動イメージに関する文献的研究

鬼形周恵子、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 3 : 61-67. 2009

225) 後谿への鍼刺激が肩外転運動に与える影響

福島綾子、谷埜予士次、酒井英謙、谷 万喜子、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 3 : 30-35. 2009

226) 外関への鍼刺激が肩外転運動に与える影響

酒井英謙、福島綾子、谷埜予士次、高田あや、谷 万喜子、鈴木俊明
関西医療大学紀要. 3 : 1-6. 2009

227) 鍼治療による筋緊張促通が頸部偏倚の改善に有効であった頸部ジストニアの一症例

氏原輝子、井上博紀、西村栄津子、酒井英謙、谷 万喜子、鈴木俊明、吉田宗平
関西医療大学紀要. 3 : 77-81. 2009

228) 立位および歩行動作に着目し、鍼治療を行った体幹ジストニアの一症例

飯田晋司、山田哲平、宇羅直美、谷 万喜子、鈴木俊明、吉田宗平
関西医療大学紀要. 3 : 72-76. 2009

229) 妊娠中の頸部ジストニア患者一症例に対する鍼治療

宇羅直美、氏原輝子、谷 万喜子、鈴木俊明、吉田宗平
関西医療大学紀要. 3 : 82-87. 2009

230) 歩行時に非麻痺側の過剰な努力により歩行困難を呈していた脳血管障害片麻痺患者の一症例

楠田啓介、米田浩久、鈴木俊明
関西医療大学紀要. 3 : 88-94. 2009

231) 体幹筋の筋緊張の調整が歩行の安定性向上に寄与した小脳出血患者の1症例

阪野栄一、米田浩久、鈴木俊明
関西医療大学紀要. 3 : 95-100. 2009

232) 非麻痺側の過剰努力と動作に対する恐怖心により理学療法に難渋した脳血管障害片麻痺患者の一症例

仙波正博、米田浩久、鈴木俊明
関西医療大学紀要. 3 : 101-107. 2009

233) 双極性障害の加療中に生じた遅発性ジストニアに対する鍼治療

西村栄津子、三井 浩、谷 万喜子、高田あや、鈴木俊明、柳生隆視、木下利彦
関西医療大学紀要. 3 : 115-120. 2009

234) 身のまわり動作、生活関連動作から基本動作を考える

鈴木俊明

関西理学. 9 : 1-5. 2009

235) 車の運転動作を考える—ペダル操作に必要となる体幹筋の活動に着目して—

高崎恭輔、山口剛司、鈴木俊明

関西理学. 9 : 35-40. 2009

236) 鍼治療の新しい視点—置鍼中の姿勢への着目—

谷 万喜子、鈴木俊明

関西理学. 9 : 41-45. 2009

237) 周期的な聴覚刺激を手がかりとして遂行する運動におけるタイミングの検討

—In-phase 運動およびAnti-phase 運動による比較—

伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明、嶋田智明

関西理学. 9 : 47-56. 2009

238) 仙腸関節における骨盤偏移の評価と理学療法

高崎恭輔、鈴木俊明、清水卓也

関西理学. 9 : 57-68. 2009

239) 周期的な聴覚刺激における刺激回数の増加と刺激頻度の相違が筋電図反応時間の変化に及ぼす影響—一側足関節背屈運動における検討—

藤原 聰、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学. 9 : 77-81. 2009

240) 立位での一側下肢への荷重が荷重側股関節外転筋群の筋電図積分値に与える影響

—体幹前傾に伴う股関節屈曲角度の変化による検討—

池田幸司、藤本将志、安井重男、渡邊裕文、大沼俊博、赤松圭介、鈴木俊明

関西理学. 9 : 83-88. 2009

241) 一側下肢支持立位における一側杖への上肢荷重量の変化が広背筋上部線維・下部線維、腹斜筋群、腰背筋群の筋電図積分値に及ぼす影響—杖側下肢支持および非杖側下肢支持課題による検討—

安井重男、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、貝尻 望、田尻恵乃、水上俊樹、鈴木俊明

関西理学. 9 : 97-103. 2009

242) 腋窩神経不全麻痺回復後、肩関節屈曲保持に不安定性を認めた一症例

—肩甲胸郭関節に着目して—

永野敬祐、三浦雄一郎、福島秀晃、森原 徹、鈴木俊明

関西理学. 9 : 169-174. 2009

243) 母指対立運動の運動イメージ方法の違いによる脊髄神経機能の興奮性の変化

—F波による検討—

鈴木俊明、谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、鬼形周恵子、谷 万喜子

脊髄機能診断学. 31 : 60-64. 2009

244) 和歌山県スモン患者における座位、立位の前方移動能力とバランス能力、歩行機能との関係

吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之、米田浩久、紀平為子、吉益文夫

平成21年度総括 分担研究報告書. 165-167. 2010

245) 運動器疾患を理解するための体幹筋の筋活動評価

鈴木俊明、高崎恭輔、谷埜予士次、米田浩久、谷 万喜子、渡邊裕文、大沼俊博、

三浦雄一郎

臨床脳波. 52 : 437-436. 2010

246) 上肢ジストニア患者一症例に対する上肢運動機能定量化システムを用いた鍼治療効果検討

井上博紀、谷 万喜子、鈴木俊明、吉田宗平

関西医療大学紀要. 4 : 92-99. 2010

247) 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージは対側脊髄神経機能を興奮させる

鈴木俊明、谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、鬼形周恵子、浦上さゆり、谷 万喜子
脊髄機能診断学. 32 : 101-105. 2010

248) 再考 理学療法基本技術

鈴木俊明

関西理学. 10 : 1-4. 2010

249) 上肢の関節可動域練習

高崎恭輔、山口剛司、鈴木俊明、清水卓也

関西理学. 10 : 33-42. 2010

250) 介助歩行時における身体操作

魚住 心、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 10 : 43-49. 2010

251) 深く座る座位と浅く座る座位での靴・靴下着脱動作における姿勢戦略に関する研究

貝尻 望、赤松圭介、藤本将志、田尻恵乃、早田 荘、水上俊樹、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 10 : 51-56. 2010

252) 洗髪動作模倣課題遂行時における僧帽筋の筋活動について

—肘関節屈伸運動の速度変化による検討—

早田 荘、赤松圭介、藤本将志、田尻恵乃、水上俊樹、貝尻 望、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 10 : 57-62. 2010

253) 周期性の認識に基づく効率的な運動中に定期的に呈示される異なる刺激間隔が筋電図反応時間に及ぼす影響—刺激回数の増加と刺激間隔の相違による検討—

藤原 聰、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明、嶋田智明

関西理学. 10 : 71-76. 2010

254) 機器を用いた症例のまとめ方

鈴木俊明

大阪府理学療法士会誌. 39 : 27-32. 2011

255) 何をもって治ったとするか

鈴木俊明

関西理学. 11 : 1-3. 2011

256) 脳血管障害片麻痺患者の麻痺側上肢機能について考える

鈴木俊明、鬼形周恵子、文野住文、谷 万喜子

関西理学. 11 : 13-19. 2011

257) 体幹前屈位時に腰部痛が生じる器械体操選手—トップダウン評価での機能障害抽

出が困難な症例に対して—

高崎恭輔、鈴木俊明、清水卓也

関西理学. 11 : 33-36. 2011

258) 聴覚刺激の刺激間隔の相違による予測の要因が筋電図反応時間に及ぼす影響

高橋優基、藤原 聰、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学. 11 : 41-45. 2011

259) 端座位にて一側下肢挙上位を保持した肢位での側方への荷重量の変化が腹斜筋群

の筋電図積分値に与える影響—入浴時の浴槽へのまたぎ動作を想定して—

津江正樹、池田幸司、赤松圭介、藤本将志、貝尻 望、田尻恵乃、早田 莊、水上俊樹、
大沼俊博、渡邊裕文、安井重男、鈴木俊明

関西理学. 11 : 51-56. 2011

260) 片脚立位時の矢状面上における足圧中心位置の違いが股関節周囲筋の筋活動に与
える影響

木下拓真、高木綾一、鈴木俊明

関西理学. 11 : 57-63. 2011

261) 結帶動作における肩甲骨周囲筋群の筋活動について

高見武志、松田俊樹、三馬孝明、中道哲朗、鈴木俊明

関西理学. 11 : 65-70. 2011

262) 一側上肢の随意運動が体側上肢の感覚機能に及ぼす影響—体性感覚誘発電位を用
いた検討—

山本吉則、鈴木裕介、辻本憲吾、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学. 11 : 77-82. 2011

263) 麻痺側肩甲帯と体幹に着目した理学療法により麻痺側手指の分離運動に改善を認
めた脳梗塞後右片麻痺の一症例—表面筋電図を用いた理学療法効果の検討—

大西真代、塚本枝里、鈴木裕介、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学. 11 : 131-138. 2011

264) 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージ方法の違いが脊髄神経機能に与
える影響—視覚の有無の関連性—

鈴木俊明、谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、鬼形周恵子、谷 万喜子

脊髄機能診断学. 33 : 75-79. 2011

265) 立位での一側下肢への側方体重移動が内腹斜筋と腰背筋の筋活動に及ぼす影響

井上隆文、中道哲朗、三浦雄一郎、鈴木俊明

理療. 41 : 24-29. 2011

266) 端座位一側下肢拳上位での体幹屈曲角度の変化が体幹筋群の筋電図積分値に及ぼす影響

貝尻 望、赤松圭介、藤本将志、田尻恵乃、早田 荘、水上俊樹、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

The Journal of Clinical Physical Therapy. 14 : 75-80. 2011

267) 肩関節内旋、外旋における等尺性収縮時の肩甲骨周囲筋活動

井尻朋人、高木綾一、鈴木俊明

理学療法科学. 27 : 141-146. 2012

268) 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージ収縮速度が脊髄神経機能の興奮性に与える影響

文野住文、鈴木俊明

理学療法科学. 27 : 335-339. 2012

269) 腰痛症に対する伸縮性ベルトとプラスチック性支柱を用いた簡易作成式の機能的腰部装具の効果について

吉田隆紀、鈴木俊明、中塚映政、伊藤倫之

関西医療大学紀要. 6 : 147-153. 2012

270) 脳血管障害片麻痺患者における痙攣縮の脊髄運動神経機能に関する文献研究

山下 彰、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 6 : 102-108. 2012

271) 運動イメージが中枢神経機能と脊髄神経機能興奮性変化に与える影響に関する文献的研究

文野住文、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 6 : 97-101. 2012

272) 左立脚初期で左側方への転倒傾向を認めた右小脳出血患者の一症例—右立脚中期

以降の同側体幹筋の筋収縮の遅延に着目して—

吉岡芳泰、米田裕久、高田 肇、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 6 : 123-132. 2012

273) 上肢運動に際した先行随伴性姿勢調整に関する文献的研究

丸岡祥子、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 6 : 116-122. 2012

274) ラベンダーの香りと神経機能に関する文献的研究

由留木裕子、鈴木俊明

関西医療大学紀要. 6 : 109-115. 2012

275) F 波を用いた運動イメージの効果検討

鈴木俊明、文野住文、鬼形周恵子、谷 万喜子

生体応用計測. 3:11-20. 2012

276) 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響—30%と 50%収縮強度運動イメージの効果比較—

文野住文、鬼形周恵子、鈴木俊明

理学療法科学. 27:711-715. 2012

277) 筋緊張検査における検査のポイント

鈴木俊明、谷万喜子、浦上さゆり、文野住文、鬼形周恵子

関西理学. 12:1-6. 2012

278) 感覚検査における臨床的観点からのひと工夫

大沼俊博、藤本将志、赤松圭介、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 12:15-23. 2012

279) 上肢挙上時の運動側外腹斜筋による体幹安定化メカニズム

三浦雄一郎、福島秀晃、森原徹、鈴木俊明

関西理学. 12:29-34. 2012

280) Quadriceps Setting における理学療法士の介入方法が大腿四頭筋の筋活動に及ぼす影響—Unternal focus と External focus による検討—

光田尚代、高木綾一、鈴木俊明

関西理学. 12:35-39. 2012

281) 麻痺側肘関節の屈曲運動による非麻痺側上腕部の洗体動作が困難であった脳梗塞

後右肩麻痺患者への理学療法

森井佑実、水上俊樹、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 12:53-59. 2012

282) 右遊脚終期から立脚中期での右股関節周囲筋群の筋緊張異常により右後方への不

安定性を認めた脳梗塞後右肩麻痺の一症例

奥村亮、塚本絵里、鈴木裕介、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学. 12:95-100. 2012

283) 円背姿勢が歩行開始時の円滑な体重移動を阻害し、独歩の実用性低下を認めた左

大腿骨転子部骨折の一症例

梶迫美沙子、光田尚代、高木綾一、鈴木俊明

関西理学. 12:101-108. 2012

284) 短時間のリラックスイメージは脊髄神経機能の興奮性を低下させるか

鈴木俊明、文野住文、鬼形周恵子、谷万喜子、谷埜予士次、米田浩久、高崎恭輔、吉田
隆紀、浦上さゆり

脊髄機能診断学. 34:72-75.2012

285) パーキンソン病における運動イメージの効果検討—F波を用いた研究—

鈴木俊明

理学療法学. 39:126-127.2012

286) 和歌山県のスモン患者に対する運動療法の即時効果、厚生労働科学研究費補助金

(難治性疾患克服研究事業) スモンに関する調査研究

吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之

平成23年度 総括・分担研究報告書. 183-186. 2012

287) 立位における上肢遠位関節運動時の予測的姿勢制御—足底圧中心による検討—

丸岡祥子、高木綾一、鈴木俊明

理学療法科学. 28:31-34.2013

288) 健常者におけるヒラメ筋のH波,F波出現様式

山下彰、鈴木俊明、文野住文
理学療法科学. 28:205-208. 2013

289) 手指反復運動の頻度が体性感覚誘発電位に及ぼす影響

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明
理学療法科学. 28:257-260. 2013

290) 意識的には認識できない小さなリズムの変化が予測に基づく反応運動に及ぼす影響

高橋優基、藤原聰、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明
理学療法科学. 28:249-252. 2013

291) 脳血管障害片麻痺患者における下肢のH波、F波出現様式

山下彰、鈴木俊明、文野住文
理学療法科学. 28:563-567. 2013

292) 母指屈曲運動の動作イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響

佐々木英文、文野住文、鈴木俊明、浦邊幸夫
理学療法科学. 28:673-676. 2013

293) 経穴刺激理学療法の効果に関する基礎的検討—尺澤への抑制手技が母指球筋のF波および自律神経機能に与える影響—

鈴木俊明、米田浩久、谷埜予士次、高崎恭輔、谷万喜子、鬼形周恵子、吉田隆紀、文野佳文、浦上さゆり、若山育郎、吉田宗平
理学療法学. 40:136-137. 2013

294) ラベンダーの香りが上肢脊髄神経の興奮性に与える影響

由留木裕子、鈴木俊明
理学療法学. 40:96-100. 2013

295) 単純な手指の対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に与える影響

前田剛伸、嘉戸直樹、鈴木俊明
理学療法学. 40:303-306. 2013

296) 上肢拳上不能な腱板広範囲断裂保存症例へのリハビリテーションアプローチへの検討

大川真美、森原徹、福島秀晃、三浦雄一郎、鈴木俊明
総合リハビリテーション. 41:863-867. 2013

297) 前腕肢位が肩関節外旋運動に与える影響
三浦雄一郎、福島秀晃、森原徹、鈴木俊明
総合リハビリテーション. 41:1037-1044. 2013

298) 肘関節肢位が肩関節外旋運動に及ぼす影響
—超音波画像診断装置を用いた検討—
早田荘、早田恵乃、小椋智美、三浦雄一郎、渡邊裕文、大沼俊博、鈴木俊明
理学療法学. 28:731-734. 2013

299) 肩甲骨周囲筋における筋活動開始の順序性に関する研究
井尻朋人、高木綾一、鈴木俊明
理学療法科学. 28:783-786. 2013

300) 運動イメージと脊髄神経機能
鈴木俊明、文野住文、鬼形周恵子、谷万喜子
関西理学. 13:1-9. 2013

301) 体幹研究と理学療法
大沼俊博、渡邊裕文、藤本将志、赤松圭介、谷埜予士次、鈴木俊明
関西理学. 13:11-22. 2013

302) 他動的電子識別における上肢脊髄神経機能の興奮性の変化
弓永久哲、山田勝真、鈴木俊明
関西理学. 13:59-64. 2013

303) 腹臥位での下肢空間保持が非空間保持側の僧帽筋下部線維の筋活動に与える影響
池澤秀起、井尻朋人、高木綾一、鈴木俊明
関西理学. 13:65-71. 2013

304) パーキンソン病症例における側方体重移動時の体幹筋の筋活動パターンの検討
大中礼香、野口翔平、増田蓉二郎、玉置昌孝、井上隆文、中道哲朗、鈴木俊明
関西理学. 13:77-86. 2013

- 305) 体幹筋の筋緊張低下により座位にて転倒傾向を認めた脳梗塞後左片麻痺患者に対する理学療法
二五田美沙、早田恵乃、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、田中祥子、鈴木俊明
関西理学. 13:95-101. 2013
- 306) 洗濯物干し動作において右肩関節前面に疼痛を認めた右上腕骨近位部骨折後患者に対する理学療法
楠貴光、早田莊、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明
関西理学. 13:111-120. 2013
- 307) 麻痺側上肢での包丁操作において食材の切断が困難であった脳梗塞後右片麻痺患者に対する理学療法
伊藤陸、貝尻望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、萩尾亜弥、鈴木俊明
関西理学. 13:121-128. 2013
- 308) 右上肢による排泄後の清拭動作が困難であった腰部脊柱管狭窄症とともに腰椎後方固定術後患者への理学療法
松本明彦、津江正樹、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明
関西理学. 13:126-136. 2013
- 309) 立位で中殿筋のトレーニングが歩行機能の改善を認めたスモン患者について、厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）スモンに関する調査研究
吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之
平成 24 年度 総括・分担研究報告書. 196-198. 2013
- 310) 立位時の体重側方移動と腹斜筋硬度の関係
大沼俊博、渡邊裕文、藤本将志、赤松圭介、鈴木俊明
生体応用計測. 4:49-53.2013
- 311) 捻挫後の機能的不安定性に対する経皮的電気刺激を加えたトレーニングの効果－片脚立位時の重心動搖計と筋電図を用いた検討－
吉田隆紀、谷埜予士次、増田研一、鈴木俊明
臨床スポーツ医学. 31:385-389.2014
- 312) スモンの運動機能の経年変化－2 症例での検討－
吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之

平成 25 年度 総括・分担研究報告書. 179-181. 2014

- 313) 足関節捻挫後の機能的不安定性に対する電気療法の効果－不安定板上の運動時に電気療法を付加するトレーニング法の検討－
吉田隆紀、谷埜予士次、鈴木俊明
理学療法学. 29:417-420.2014
- 314) 端座位での側方体重移動時における移動側中殿筋・大腿筋膜張筋・大殿筋上部線維の筋電図積分値
池田幸司、大沼俊博、渡邊裕文、藤本将志、赤松圭介、鈴木俊明
理学療法学. 29:421-424.2014
- 315) 座位での側方への体重移動における腹斜筋群の筋活動の特徴
渡邊裕文、大沼俊博、高崎恭輔、谷埜予士次、鈴木俊明
理学療法科学. 29:561-564.2014
- 316) アロマテラピーが上肢での脊髄神経機能の興奮性に与える影響について
由留木裕子、鈴木俊明、文野住文、岩月宏泰
臨床神経生理学. 42:87-99.2014
- 317) 膝伸展課題直後のハムストリングスの筋活動と膝屈曲トルク
吉岡芳泰、谷埜予士次、鈴木俊明
理学療法科学. 29:555-559.2014
- 318) 意識的には認識できない小さなリズムの変化が予測に基づく反応時間に及ぼす影響－基本間隔を延長したパターンによる検討－
高橋優基、藤原聰、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明
理学療法学. 41:306-311.2014
- 319) 立位での踵部および前足部荷重における腹斜筋群、多裂筋の筋活動について
大沼俊博、渡邊裕文、藤本将志、赤松圭介、谷埜予士次、鈴木俊明
ボースジャーナル. 37:2-5.2014
- 320) 全習法と異なる二種の分習法での運動学習効果の検討－単位時間軌跡長による検討－
米田浩久、鈴木俊明

理学療法科学. 29:809-813.2014

321) 立位時の体重側方移動が腰背筋の筋機能に与える影響—組織硬度計を用いた検討

—

大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

生体応用計測. 5:63-67.2014

322) 筋緊張異常に対するアプローチ

鈴木俊明、文野住文、鬼形周恵子、谷万喜子、米田浩久

関西理学. 14:27-31.2014

323) 立位での膝関節屈曲位保持課題が膝蓋骨の前額面上回旋角度変化に及ぼす影響

橋谷裕太郎、早田莊、赤松圭介、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、野口克己、

久保恭臣、鈴木俊明

関西理学. 14:37-41.2014

324) 立位での前足部荷重における多裂筋・最長筋・腸肋筋の筋活動について

國枝秀樹、末廣健児、大沼俊博、渡邊裕文、石濱崇史、鈴木俊明

関西理学. 14:43-47.2014

325) 聴覚刺激のリズムの変化率の違いがリズミカルな反応運動に及ぼす影響

高橋優基、藤原聰、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学. 14:49-58.2014

326) 歩行の右立脚中期から後期に骨盤の過度な右側方移動が生じることで歩行動作の
安全性・安定性低下を認めた小脳梗塞後患者の理学療法

辻智美、石橋佑実、貝尻望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 14:59-65.2014

327) 立ち上がり動作時に左麻痺側後方への転倒の危険性を認めた右被殼出血後左片麻
痺患者の理学療法

小松菜生子、橋谷裕太郎、早田恵乃、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 14:67-76.2014

328) 立ち上がり動作時に右後方への転倒傾向を認めた第 6 頸髄不全損傷四肢麻痺患者
の理学療法

刀坂太、早田莊、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明
関西理学. 14:83-89.2014

329) 第 2 腰椎圧迫骨折および腸閉塞外科術後に起き上がり動作が困難となった症例の
理学療法

水口真希、高森絵斗、早田莊、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明
関西理学. 14:91-101.2014

330) ホールドリラックスを利用したリラックスイメージが脊髄神経機能の興奮性に与
える影響—F 波を用いた研究—

松井滉平、網本怜子、刀坂太、文野住文、鈴木俊明
理学療法科学. 29:979-982.2014

331) 座位での側方リーチ動作における圧中心 (COP) の変位と内腹斜筋の筋活動につ
いて

渡邊裕文、大沼俊博、池田幸治、末廣健児、石濱崇史、國枝秀樹、池田匠、鈴木俊明
ボースジャーナル. 37:124-128.2014

332) 複雑性の異なる手指対立運動の運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼ
す影響

前田剛伸、嘉戸直樹、鈴木俊明
臨床神経生理学. 43:10-13.2015

333) 痙縮の病態生理と電気生理学的評価

鈴木俊明
MB Med Reha. 180:23-28.2015

334) 脳血管障害片麻痺患者の麻痺側筋緊張亢進の要因は誘発筋電図により解明できる
鈴木俊明、谷埜予士次、米田浩久、吉田隆紀、鬼形周恵子、文野住文、谷万喜子、若山
育郎、吉田宗平
理学療法学. 42:176-177.2015

335) 運動イメージの具体的方法の個人差に関する一考察

東藤真理奈、文野住文、米田浩久、鈴木俊明
理学療法科学. 30:405-407.2015

336) 脳血管障害片麻痺患者の痙攣のリハビリテーション評価としての F 波、H 波の応用

鈴木俊明

The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 52:335-339.2015

337) 隨意運動能力の回復にともない F 波波形の変化も改善する

鈴木俊明、文野住文、谷 万喜子、鬼形周恵子、米田浩久、東藤真理奈、浦上さゆり、若山育郎、吉田宗平

脊髄機能診断学 36 : 59-62.2015

338) 前腕筋群の疲労に対する末梢神経電気療法の効果—グリップ動作課題における握力と筋電図積分値を用いた検討—

吉田隆紀、鈴木俊明、増田研一

日本臨床スポーツ医学誌. 23:552-559.2015

339) 腹臥位での下肢空間保持が非空間保持側の僧帽筋下部線維の筋活動に与える影響—肩関節外転角度の変化に着目して—

池澤秀起、高木綾一、鈴木俊明

理学療法科学. 30 : 261-264.2015

340) 運動イメージの具体的方法の個人差に関する一考察

東藤真理奈、文野住文、米田浩久、鈴木俊明

理学療法科学. 30:405-407.2015

341) 麻痺側母指球筋に筋緊張亢進を呈した脳血管障害片麻痺患者に対する尺沢への経穴刺激理学療法の効果—抑制テクニックにおける F 波の変化—

高森絵斗、水口真希、早田恵乃、渡邊裕文、文野住文、鈴木俊明

理学療法科学. 30:939-943.2015

342) ラベンダーの吸入が脊髄神経運動ニューロンに与える影響

由留木裕子、岩月宏泰、鈴木俊明

臨床神経生理学. 43:111-120.2015

343) 基本動作を考える—臨床で必ず観察する基本動作—

鈴木俊明、谷万喜子、文野住文

関西理学療法. 15:1-2.2015

344) 片脚立位—足部機能の検討—

中道哲朗、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学療法. 15:17-21.2015

345) 筋力低下の部位の違いによる肩関節最大等尺性収縮時の筋活動変化 —開始肢位

からの変化量に着目して—

井尻朋人、高木綾一、鈴木俊明

関西理学療法. 15:33-37.2015

346) 一側肩関節屈曲位保持課題における肩関節屈曲角度変化が両側最長筋、多裂筋、腸肋筋の筋電図積分値に及ぼす影響について

早田莊、楠貴光、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学療法. 15:39-44.2015

347) 肩関節水平屈曲角度変化が大胸筋の筋電図積分値相対値に及ぼす影響

楠貴光、早田莊、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学療法. 15:45-48.2015

348) 立位でのステップ肢位保持における支持側股関節外旋角度変化が支持側大殿筋上部線維と下部線維の筋電図積分値に及ぼす影響

伊藤陸、貝尻望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学療法. 15:49-52.2015

349) 背臥位と直立位の肢位変化が内腹斜筋横方向線維の硬度に与える影響 - 組織硬度計を用いた検討 -

大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学療法. 15:53-56.2015

350) 立位での一側下肢への側方体重移動が多裂筋・腸肋筋・最長筋の筋活動パターンに与える影響について

野口翔平、玉置昌孝、井上隆文、中道哲朗、藤本将志、鈴木俊明

関西理学療法. 15:61-65.2015

351) 運動イメージ方法の違いによる脊髄神経機能の興奮性変化-複合イメージと単独イメージによる比較—

東藤真理奈、文野住文、鈴木俊明

関西理学療法. 15:75-78.2015

352) 太白への鍼刺激が膝関節伸展運動時における大腿四頭筋の筋機能に与える影響—異なる鍼刺激および運動回数による検討—

生田啓記、谷 万喜子、峯山華、高橋護、田中健一、井尻朋人、鈴木俊明

関西理学療法.15:85-91.2015

353) 食事動作における左麻痺側手でのお椀把持動作に実用性低下を認めた脳梗塞後左片麻痺患者の理学療法

上田透、楠貴光、早田恵乃、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学療法. 15:93-99.2015

354) 両手での洗顔動作が困難であった脳梗塞後右片麻痺患者に対する理学療法

西谷源基、橋谷裕太郎、早田荘、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学療法. 15:107-115.2015

355) 体幹屈曲、左非麻痺側回旋および左非麻痺側肩関節水平屈曲が不十分なことで起き上がり動作が困難であった脳出血後右片麻痺患者の理学療法

田中大志、高森絵斗、早田荘、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学療法. 15:117-125.2015

356) 立位保持時に後方への転倒傾向が生じトイレ動作の実用性が低下した右視床出血後左片麻痺患者の理学療法

木田知宏、伊藤陸、貝尻望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学療法. 15:135-141.2015

357) 非周期的な手指反復運動が短潜時体性感覚誘発電位に及ぼす影響

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

臨床神経生理学. 43:65-69.2015

358) 両側中殿筋の筋緊張低下を認めたスモン患者 1 症例一片脚立位動作と歩行用知己の関連性—、厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）スモンに関する調査研究

吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之

平成 26 年度 総括・分担研究報告書. 187-189. 2015

- 359) 運動イメージが脊髄神経機能の興奮性および運動の正確性に与える影響.
福本悠樹, 武凪沙, 淀本恵, 文野住文, 鈴木俊明
関西理学療法. 15: 79-84, 2015
- 360) 膝関節屈曲角度の変化に伴う膝関節伸展等尺性収縮時の大腿四頭筋における筋活動変化
生田啓記、井尻朋人、鈴木俊明
理学療法科学. 31:7-11.2016
- 361) 異なる筋収縮強度を用いた母指対立運動イメージが脊髄運動神経の興奮性と自律神経活動に及ぼす影響
文野住文、鈴木俊明、岩月宏泰
理学療法科学. 31:117-125.2016
- 362) アキレス腱付着部への集毛鍼刺激がヒラメ筋の H 波に与える影響—2 分間での検討—
高橋譲、谷万喜子、鈴木俊明
日本東洋医学雑誌. 67:22-27.2016
- 363) 外反母趾症状を有する女子学生の歩行時の特徴—健常若年女性との比較—
吉田隆紀、谷埜予士次、鈴木俊明、増田研一
理学療法. 33:469-475.2016
- 364) 太白穴への鍼刺激が膝関節伸展運動時における大腿四頭筋の筋機能に与える影響—公孫穴との比較—
生田啓記、谷万喜子、鈴木俊明
日本東洋医学雑誌. 67:257-263.2016
- 365) 動作解釈の方法
鈴木俊明、谷万喜子、文野住文
関西理学. 16 : 1-2. 2016
- 366) 運動イメージが脊髄運動神経の興奮性および自律神経活動に及ぼす影響
文野住文、鈴木俊明、岩月宏泰
関西理学. 16 : 31-36. 2016

- 367) 端座位での前方リーチ肢位保持における大殿筋および内側・外側ハムストリングスの筋活動
木津彰斗、末廣健児、國枝秀樹、石濱崇史、池田幸司、鈴木俊明
関西理学. 16 : 43-47. 2016
- 368) 母指対立運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性と運動の正確性に与える影響—30%MVCによる検討—
今奈良有、福本悠樹、文野住文、鈴木俊明
関西理学. 16 : 49-54. 2016
- 369) 手のメンタルローション課題が上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響—反応時間の違いによる検討—
野村真、嘉戸直樹、鈴木俊明
関西理学. 16 : 63-67. 2016
- 370) 健常者における異なる筋収縮強度での随意運動時の F 波—F 波波形の種類での検討—
小松菜生子、武凪沙、高森絵斗、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明
関西理学. 16 : 69-77. 2016
- 371) 日本舞踊における右下肢の後方ステップ動作時に転倒の危険性が生じた脳梗塞後右片麻痺患者の理学療法
武凪沙、小松菜生子、橋谷裕太郎、早田恵乃、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明
関西理学. 16 : 79-86. 2016
- 372) いざり動作練習により座位での浴槽跨ぎ動作の実用性が向上した頸髄症の一症例—左上肢支持を用いた自立を目指して—
川崎由希、光田尚代、鈴木俊明
関西理学. 16 : 87-93. 2016
- 373) 立位で重量物を保持し、前方の台上へのせる動作に安定性低下を認めた変形性脊椎症の合併症を有する頸椎症性脊髄症患者に対する理学療法
山内陽介、山田真希、高森絵斗、早田莊、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明
関西理学. 16 : 95-100. 2016

- 374) 歩行において右股関節屈曲位が継続することで右遊脚が困難であった脳出血後右片麻痺患者の理学療法
淵本恵、辻智美、貝尻望、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明
関西理学. 16 : 101-107. 2016
- 375) 歩行の左立脚期に膝関節外反が増大し安定性低下を認めた左脛骨・腓骨近位部骨折後患者の理学療法
森川智貴、楠貴光、早田恵乃、赤松圭介、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明
関西理学. 16 : 109-115. 2016
- 376) 外反母趾用靴下における介入効果の検証
吉田隆紀、谷埜予士次、鈴木俊明、増田研一
理学療法科学. 31 : 857-863. 2016
- 377) 運動イメージ効果を認めなかった F 波の波形の種類は増加することがある
鈴木俊明、文野住文、谷万喜子、鬼形周恵子、東藤真理奈、福本悠樹、浦上さゆり、吉田宗平
脊髄機能診断学. 37 : 39-42. 2016
- 378) 10%収縮強度運動イメージが脊髄運動神経の興奮性に与える影響－運動イメージ時の自覚的筋収縮強度を考慮して－
文野住文、鬼形周恵子、東藤真理奈、福本悠樹、鈴木俊明
物理療法科学. 23 : 15-19. 2016
- 379) スモン患者の歩行能力改善には下腿三頭筋の筋力トレーニングが必要である、吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之
厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究平成 27 年度 総括・分担研究報告書. 204-207. 2016
- 380) 運動イメージの明瞭性の個人差が脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響
野村真、前田剛伸、嘉戸直樹、鈴木俊明
理学療法科学. 32 : 195-199. 2017
- 381) 座位での股関節内旋・外旋角度変化が大殿筋上部線維、中殿筋前部線維、大腿筋膜張筋の筋電図積分値に及ぼす影響

伊藤陸、早田莊、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明
理学療法科学. 32 : 443-447. 2017

382) 太白穴への鍼刺激が膝関節伸展運動時における大腿四頭筋の筋機能に与える影響
生田啓記、谷万喜子、鈴木俊明
日本アスレティックトレーニング学. 2 : 117-123. 2017

383) 地域在住高齢者の後方転倒と転倒リスク評価に関する横断研究
福田圭志、中村英美、光田尚代、井尻朋人、鈴木俊明
日本転倒予防学会誌. 4 : 53-59. 2017

384) 立位での一側下肢への側方体重移動が腰背筋群・足部周囲筋の筋活動パターンに
与える影響
野口翔平、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明
Jpn J Rehabil Med. 54 : 618-626. 2017

385) 運動イメージにおけるグレーディングの脊髄神経機能
鈴木俊明、谷万喜子、文野住文、東藤真理奈、福本悠樹、米田浩久
体育の科学. 67 : 836-841. 2017

386) 筋電図からわかること—臨床で筋電図をどう生かすか—
鈴木俊明、谷万喜子
関西理学. 17 : 1-2. 2017

387) 上肢挙上に伴う体幹機能
早田莊、楠貴光、鈴木俊明
関西理学. 17 : 23-32. 2017

388) 基本動作における大殿筋上部線維と下部線維の筋活動について
伊藤陸、藤本将志、鈴木俊明
関西理学. 17 : 33-40. 2017

389) 運動スピードが体性感覚入力に及ぼす影響
山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明
関西理学. 17 : 55-58. 2017

390) 座位での股関節内旋・外旋角度変化が大殿筋下部線維、縫工筋、股関節内転筋の筋電図積分値に及ぼす影響
伊藤陸、早田莊、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学. 17 : 71-76. 2017

391) 継続した運動イメージが運動の正確性に与える影響と脊髄神経機能の興奮性の関連性について：シングルケースによる5日間の検討

今奈良有、福本悠樹、鈴木俊明

関西理学. 17 : 77-84. 2017

392) 立位での一側下肢への側方体重移動が移動側ハムストリングスの筋活動パターンに与える影響
玉置昌孝、野口翔平、中道哲朗、鈴木俊明

関西理学. 17 : 85-89. 2017

393) 母指球筋の筋収縮時における尺沢への経穴刺激理学療法が脊髄神経機能に与える影響—抑制手技での検討—
田坂悠貴、伊奈瑞貴、佐藤陸典、弓倉慶也、福本悠樹、文野住文、谷万喜子、鈴木俊明

関西理学. 17 : 91-96. 2017

394) 装具を用いて母指と示指を対立肢位に固定した時の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響
前田章裕、福本悠樹、文野住文、鈴木俊明

関西理学. 17 : 97-103. 2017

395) 静止立位と転倒方向および転倒頻度の関連を調査した横断研究

福田圭志、井尻朋人、鈴木俊明

関西理学. 17 : 105-110. 2017

396) 観察課題と測定上肢の肢位の違いが脊髄神経機能の興奮性へ影響を与える—前腕肢位の違いにおける検討—
高崎浩壽、末廣健児、石濱崇史、鈴木俊明

関西理学. 17 : 111-118. 2017

397) 麻痺側中殿筋、大殿筋および外腹斜筋における筋緊張低下の改善がトイレ動作での下衣脱衣動作の獲得に繋がった脳梗塞後右片麻痺患者の理学療法

小島佑太、辻智美、伊藤陸、早田莊、鈴木俊明

関西理学. 17 : 133-138. 2017

- 398) 左足部・足関節への運動療法後に体幹の問題に対しても運動療法をおこなったことでT字杖歩行動作の実用性向上を認めた脳梗塞後左片麻痺患者の一症例
福本悠樹、鈴木俊明
関西理学. 17 : 139-146. 2017

- 399) 上衣脱衣動作時の代償動作により右肩前面の疼痛が増悪した右肩甲上腕関節の前方不安定性を有する頸部脊柱管狭窄症の一症例
東野祥子、刀坂太、楠貴光、貝尻望、鈴木俊明
関西理学. 17 : 147-153. 2017

- 400) 車椅子座位でのうがい動作時に転倒の危険性が生じた脳梗塞後左片麻痺患者への理学療法
福間歌奏、森川智貴、橋谷裕太郎、早田恵乃、鈴木俊明
関西理学. 17 : 155-161. 2017

- 401) 右腓骨筋群と足部内反筋群の筋緊張異常により、右立脚初期から中期にかけて安全性・安定性低下を認めた脳梗塞後右片麻痺患者に対する理学療法
福本悠樹、文野住文、鬼形周恵子、鈴木俊明
関西理学. 17 : 169-173. 2017

- 402) 麻痺側股関節と胸椎・胸腰椎移行部に対する理学療法により立ち上がり動作が改善した脳梗塞左片麻痺患者の一症例
藤田菜摘、完山花菜、好井直輝、清原直幸、金岡翼、中道哲朗、鈴木俊明
関西理学. 17 : 175-179. 2017

- 403) 運動観察の対象の相違は脊髄神経機能の興奮性に影響を及ぼす
高崎浩壽、末廣健児、石濱崇史、鈴木俊明
臨床神経生理学. 45 : 499-505. 2017

- 404) スモン患者の歩行能力改善には下腿三頭筋の筋力トレーニングが必要である（第2報）
吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之
厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）スモンに関する調査研究班 平

成28年度 総括・分担研究報告書.238-241.2017

405) 上腕三頭筋長頭の電気刺激による筋収縮が肩甲骨肢位に及ぼす影響

楠貴光、早田莊、大沼俊博、渡邊裕文、野口克己、宮本達也、鈴木俊明

理学療法科学.33:77-81.2018

406) 両側および一側上肢前方拳上保持角度変化が体幹背面筋の活動と脊柱運動に及ぼす影響

楠貴光、早田莊、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明

理学療法科学.33:101-107.2018

407) 股関節伸展および外転保持課題に対する負荷量の変化が中殿筋、大殿筋の各線維の筋電図積分値に与える影響

刀坂太、楠貴光、早田莊、赤松圭介、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、三輪成利、鈴木俊明

理学療法科学.33:121-126.2018

408) Box and Block Test を用いた運動イメージが上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響

松原広幸、野村真、前田剛伸、鈴木俊明

臨床神経生理学.46:2-8.2018

409) 立位での一側下肢への側方体重移動が非移動側下肢筋の筋活動パターンに与える影響

清水貴史、野口翔平、玉置昌孝、中道哲朗、鈴木俊明

理学療法科学.33:295-300.2018

410) 両股関節伸展位に伴う体幹後傾に対し胸腰椎移行部で屈曲することにより骨盤後傾を呈することが両腰部に疼痛を誘発していた脳梗塞後右片麻痺患者の一症例

福本悠樹、鈴木俊明

理学療法科学.33:719-724.2018

411) スモン患者の歩行能力改善には下腿三頭筋と腓骨筋群の筋力トレーニングを同時におこなうことが効果的である

吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之

厚生労働科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班

平成 29 年度 総括・分担研究報告書.187-190.2018

412) 当法人のセラピストにおける残業時間短縮への取り組み

中道哲朗、鈴木俊明

日本医療マネジメント学会雑誌.19:167-172.2018

413) 非練習側上肢での母指対立運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響—

F 波による検討—

黒部正孝、文野住文、福本悠樹、鈴木俊明

理学療法科学.33:439-442.2018

414) 筋機能障害の理学療法評価と理学療法アプローチのあり方

鈴木俊明

理学療法.30:964-970.2018

415) 座位、立ち上がりの評価とハンドリング

大沼俊博、藤本将志、楠貴光、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学 18: 11-18, 2018

416) 上肢のリーチ動作の評価と運動療法

楠貴光、鈴木俊明

関西理学 18: 39-46, 2018

417) 新しい内腹斜筋横線維の筋緊張評価の試み —上前腸骨棘間の長さの測定による

検討—

大沼俊博、藤本将志、赤松圭介、楠貴光、渡邊裕文、鈴木俊明

関西理学 18: 51-54, 2018

418) 母指と他 4 指との対立運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響

—JMIQ-R を用いた検討—

李 圭敦、前田剛伸、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学.18:55-59. 2018

419) リズミカルな運動の再生に適した刺激回数と刺激間隔の検討

栗田由以、高橋優基、前田剛伸、藤原 聰、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学.18:70-75. 2018

- 420) 座位での一側下肢拳上動作における下肢拳上の高さの違いが身体運動・座圧中心位置に及ぼす影響
木田知宏、伊藤陸、楠貴光、大沼俊博、鈴木俊明
関西理学 18: 76–82, 2018
- 421) 植木鉢を地面に置く動作時に右下肢への体重移動が困難であった右人工股関節全置換術後患者の理学療法
伊森理貴、上田透、刀坂太、楠貴光、大沼俊博、鈴木俊明
関西理学 18: 97–102, 2018
- 422) キッチンでの側方移動に必要な右側へのサイドステップ時に左膝内側に疼痛が出現した両変形性膝関節症患者の理学療法
吉田美穂、田中大志、辻智美、橋谷裕太郎、大沼俊博、鈴木俊明
関西理学 18: 103–107, 2018
- 423) 股関節伸展および外転保持課題に対する負荷量の変化が中殿筋、大殿筋の各線維の筋電図積分値に与える影響
刀坂太、楠貴光、早田莊、赤松圭介、藤本将志、大沼俊博、渡邊裕文、三輪成利、鈴木俊明
理学療法科学 33: 121–126, 2018
- 424) 両側および一側上肢前方拳上保持角度変化が体幹背面筋の活動と脊柱運動に及ぼす影響
楠貴光、早田莊、大沼俊博、渡邊裕文、鈴木俊明
理学療法科学 33: 101–107, 2018
- 425) 座位での一側下肢拳上位保持における下肢拳上の高さの違いが身体運動と平均座圧中心位置に及ぼす影響
木田知宏、大沼俊博、鈴木俊明
理学療法科学 33: 481–485, 2018
- 426) 上都への経穴刺激理学療法における脊髄神経機能への影響について. 門田美咲, 井上直人, 北原拓, 黒川拓馬, 渕野航平, 柳川洸輔, 福本悠樹, 谷万喜子, 鈴木俊明
関西理学 18: 60–63, 2018

427) 運動同期能力の向上に聽覚リズム刺激の間隔が及ぼす影響 つぎの刺激を予測し
ににくい2秒間隔の同期タッピング運動の検討-

伊藤正憲、高橋優基、嘉戸直樹、鈴木俊明

臨床神経生理学 46:561-566.2018

428) 立位での側方への体重移動保持が内腹斜筋、外腹斜筋、内外腹斜筋重層部位、腹直筋の筋電図積分値に及ぼす影響

大沼俊博、楠貴光、赤松圭介、藤本将志、渡邊裕文、鈴木俊明

総合リハビリテーション 47:57-64.2019

429) 練習時間の違いによって運動イメージが運動の正確さと脊髄前角細胞の興奮性に
与える影響は異なる

福本悠樹、鈴木俊明、岩月宏泰

臨床神経生理学 47:82-92.2019

430) 運動イメージの実施は脊髄前角細胞の興奮性を増加させるが呼吸の各相はその程
度に影響しない可能性がある

福本悠樹、鈴木俊明、岩月宏泰

理学療法科学 34:239-244.2019

431) (公社)大阪府理学療法士会と (一社) 大阪府理学療法士会障害学習センター

鈴木俊明

大阪府理学療法士会誌 47:3-7.2019

432) 運動イメージが運動の正確さと素早さ及び脊髄前角細胞の興奮性に与える影響.

福本悠樹、鈴木俊明、岩月宏泰.

臨床神経生理学 47: 23-33.2019

433) 一定間隔を意識しながら打つ手拍子のリズムの変動について—聽覚刺激に合わせ
て手拍子を打つ練習の前後での比較—

高橋優基、前田剛伸、藤原聰、伊藤正憲、嘉戸直樹、鈴木俊明

臨床神経生理学 47:175-181.2019.

434) 足関節の肢位の違いがスライダーボードを用いた膝関節自動関節可動域練習時の
筋活動に与える影響

川崎由希、井尻朋人、鈴木俊明

理学療法科学 34:765-770.2019

435) 運動イメージにおける持続時間と脊髄運動ニューロンの興奮性の関係

福本悠樹、鈴木俊明、岩月宏泰

理学療法科学 34:811-816.2019

436) スモン患者の歩行能力維持・改善には下腿三頭筋と腓骨筋群の筋力トレーニング

が重要である

吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）スモンに関する調査研究班 平成31年度 総括・分担研究報告書.198-211.2019

437) 臨床から研究、研究からの臨床への還元

鈴木俊明

関西理学 19:1-2.2019

438) F波からわかる運動観察の臨床応用

高崎浩壽、末廣健児、石濱崇史、鈴木俊明

関西理学 19:3-11.2019

439) 体幹機能に関する筋電図、足底圧中心変化、姿勢動作解析から臨床を考える

野瀬晃志、中道哲朗、鈴木俊明

関西理学 19:27-33.2019

440) 筋電図による股関節、骨盤帯に関する筋電図研究から臨床を考える 一端座位、立位姿勢での一側下肢挙上動作について—

木田知宏、伊藤 陸、藤本将志、大沼俊博、鈴木俊明

関西理学 19:34-41.2019

441) 立位下方リーチ肢位保持における体幹・骨盤・股関節のアラインメント変化について

池田 匠、末廣健児、石濱崇史、鈴木俊明

関西理学 19:63-68.2019

442) 難しい手指の運動が対側上肢脊髄神経機能の興奮性に及ぼす影響

佐野紘一、嘉戸直樹、高橋優基、前田剛伸、鈴木俊明

関西理学 19:69-73.2019

443) 実運動と同時におこなう運動イメージが脊髄運動 神経機能の興奮性と運動の正確性に与える影響-Scale 4 of the Kinesthetic and Visual Imagery Questionnaire (KVIQ4) の検討-.

鶴田菜月, 福本悠樹, 東藤真理奈, 谷 万喜子, 鈴木俊明

関西理学 19: 84-91.2019

444) Box and Block Test を用いた運動イメージ実施直後の脊髄運動神経機能の興奮性の変化について

小川智大、松原広幸、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学 19:92-97.2019

445) 右前腕支持を用いて食事動作の獲得を目指した圧迫性脊髄症の一症例

中森友啓、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学 19:110-113.2019

446) 歩行動作の同時定着時期に後方へ不安定となった右片麻痺患者の一症例

三好加奈子、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学 19:114-117.2019

447) 左立脚相において左股関節と左膝関節の伸展が増大したことで歩行速度が向上した廃用症候群の一症例

木村勇太、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学 19:118-121.2019

448) 独歩のスピード低下を認めた両側アキレス腱延長術後の一症例

小山光貴、古海真悟、清水啓介、村本有里子、中道哲朗、鈴木俊明

関西理学 19:122-128.2019

449) 断続的な視覚フィードバックを利用した運動練習後の運動イメージが運動の正確さ及び脊髄前角細胞の興奮性変化と自立心会活動に与える影響

福本悠樹、鈴木俊明、岩月宏泰

臨床神経生理学 48: 59-69. 2020

450) Squat 法を指示することで重量物持ち上げ動作の姿勢は変化するか 一対象物離

床の瞬間に着目して—.

村岡秀映、鈴木俊明

Jpn J Rehabil Med. 57: 174-182. 2020

- 451) スモン患者の歩行の側方安定性の向上には正しい片脚立位トレーニングが重要である。

吉田宗平、鈴木俊明、中吉隆之

厚生労働行政推進調査事業費補助金（難治性疾患政策研究事業）スモンに関する調査研究 令和元年度総括・分担研究報告書. 152-155. 2020

- 452) 運動学に基づく疼痛解釈が認知行動療法の効果を高めた1例。

福本悠樹、鈴木俊明

日本運動器疼痛学会誌. 12: 108-116. 2020

- 453) スマートフォンのアプリケーションを用いた肩甲骨アラインメントの測定方法。

白井孝尚、井尻朋人、鈴木俊明

理学療法科学. 35: 361-365. 2020

- 454) 慢性腰痛患者における Roland-Morris Disability Questionnaire の各質問項目変化についての検討。

山本将揮、鈴木俊明、中塚映政

日本運動器疼痛学会誌. 12: 199-207. 2020

- 455) 老健入所者の栄養状態と在宅復帰・筋力・ADL の関連。

高濱祐也、井尻朋人、鈴木俊明

リハビリテーション栄養. 4: 206-211. 2020

- 456) リズミカルな運動の再生に適した刺激回数の検討—2回と10回の刺激回数による比較—。

栗田由以、高橋優基、嘉戸直樹、鈴木俊明

臨床神経生理学. 48: 153-160. 2020

- 457) 2個の球を手掌で回転させる運動により増大する対側上肢脊髄前角細胞の興奮性は練習によって減弱する

佐野紘一、嘉戸直樹、高橋優基、前田剛伸、鈴木俊明

臨床神経生理学. 48: 625-632. 2020

- 458) 異なる頻度の周期的な母指対立運動後の脊髄前角細胞の興奮性変化—最大頻度と50%頻度の比較—
黒部正孝、松原広幸、鈴木俊明
臨床神経生理学. 48: 639-644. 2020
- 459) 結帶動作方法の違いによる肩甲骨運動と肩甲骨周囲筋の筋活動
白井孝尚、井尻朋人、鈴木俊明
Jpn J Rehabil Med. 57: 1197-1203. 2020
- 460) 理学療法における自主トレーニングの重要性を考える
鈴木俊明
関西理学 20 : 1-2,2020
- 461) 上肢の外転挙上が困難な症例に対する自主トレーニングの考え方
楠 貴光、井尻朋人、鈴木俊明
関西理学 20 : 7-14,2020
- 462) 座位や立ち上がり動作が困難な症例に対する自主トレーニング
大沼俊博、池田幸司、鈴木 俊明
関西理学 20 : 19-27,2020
- 463) トレンデレンブルグ現象を特徴とする脳血管障害片麻痺の症例に対する自主トレーニング
藤本将志、伊藤 陸、鈴木俊明
関西理学 20 : 28-34,2020
- 464) 基礎研究から考える持ち上げ動作の評価と自主トレーニング —持ち上げ動作の動作特徴と機能障害の抽出方法を中心に—
村岡秀映、鈴木俊明
関西理学 20 : 35-38,2020
- 465) 異なる方法での等張性収縮が運動皮質や皮質脊髄路の興奮性に及ぼす影響
黒部正孝、松原広幸、鈴木俊明
関西理学 20 : 39-41,2020

466) 表在感覚刺激が脊髄運動神経機能の興奮性に及ぼす影響－意識の向け方についての検討－
林 哲弘、高崎浩壽、石濱崇史、末廣健児、鈴木俊明

関西理学 20 : 42-46,2020

467) 筋収縮強度を一定に保持する課題が体性感覚機能に及ぼす影響－筋収縮強度の違いによる検討－
清原克哲、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学 20:47-51,2020

468) 端座位での前方リーチ動作における骨盤傾斜角度の検討

木津彰斗、末廣健児、石濱崇史、鈴木俊明

関西理学 20:52-58,2020

469) 立位における一側上肢での身体側面に沿った下方リーチ肢位保持についての運動学的検討
小島佑太、伊藤 陸、藤本将志、赤松圭介、鈴木俊明

関西理学 20:59-68,2020

470) 静止画を用いた母趾屈曲の運動イメージが脊髄前角細胞の興奮性に与える影響

中西康将、鈴木俊明

関西理学 20:69-72,2020

471) 正中神経の走行上に存在するゲキ門への経穴刺激理学療法抑制手技が橋外転筋に対応した脊髄運動神経機能に与える影響

前田翔梧、松下可南子、安井柚夏、島地陽登、伊藤夢基、福本悠樹、東藤真理奈、谷 万喜子、鈴木俊明

関西理学 20:73-79, 2020

472) 表面筋電図における内腹斜筋に対する電極位置の検討

森川智貴、刀坂 太、楠 貴光、大沼俊博、三輪成利、鈴木俊明

関西理学 20:80-84,2020

473) 食事動作にて左側に食べ残しを認めた脳梗塞左片麻痺の一症例

木下晃紀、木村勇太、三好加奈子、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学 20:92-97,2020

474) 肩甲帯・肩甲骨の運動に着目した治療により洗体動作の獲得に至った一症例

井上直人、川崎由希、井尻朋人、鈴木俊明

関西理学 20:104-110,2020

475) 右足関節・足部と左股関節に対して理学療法を施し立ち上がり動作の安全性・安定性が向上した悪性リンパ腫脊髄転移後の一症例

土山隼一、福本悠樹、鈴木俊明

関西理学 20:123-129, 2020

476) 後方歩行の左立脚相に左股関節が内転しないまま左膝関節が屈曲し右後方へ不安定となる廃用症候群の一症例

清原克哲、福德彩人、中森友啓、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学 20:130-134, 2020

477) 50%収縮強度足関節底屈運動イメージは最大足関節底屈トルクを増加させる

文野住文、北川真帆、辻村文孝、中谷裕也、西浦 誠、濱本大輝、東山真里那、三宅ほのか、森田優希、吉田美穂、鈴木俊明

臨床神経生理学. 49: 1-7. 2021

478) 筋に対する異なる圧刺激強度が脊髄前角細胞の興奮性に与える影響

渕野航平、黒部正孝、松原広幸、鈴木俊明

臨床神経生理学. 49: 8-13. 2021

479) 2個の球を手掌で回転させる運動の練習による母指の運動の変化

佐野紘一、嘉戸直樹、高橋優基、前田剛伸、鈴木俊明

理学療法科学 36:125-129. 2021

480) 触圧覚刺激と脊髄運動神経機能の関連性

鈴木俊明、渕野航平

PT ジャーナル. 55 : 413-418, 2021

481) 運動練習実施側と対側で運動イメージした際の脊髄運動ニューロンの興奮性と運動の正確度変化

福本悠樹、鈴木佑有可、伊藤浩平、才野茜音、細尾菜月、鈴木俊明

臨床神経生理学. 49 : 54-61, 2021

482) 実運動と同時に行う運動イメージが脊髄神経機能と運動の正確性に与える影響

鶴田菜月、福本悠樹、東藤真理奈、谷 万喜子、鈴木俊明

臨床神経生理学. 49 : 45-53, 2021

483) 加算平均処理と平均値処理でのF波振幅値の比較

東藤真理奈、鈴木俊明、淺井 仁

理学療法科学. 36 : 317-323, 2021

484) 運動イメージの明瞭性が静止画を用いた母趾屈曲イメージ時の脊髄前角細胞の興奮性に与える影響–Vividness of Movement Imagery Questionnaire を用いた検討–

中西康将、鈴木俊明

理学療法科学. 36 : 457-461, 2021

485) 肩関節屈曲保持における上肢回旋時の肩甲骨運動と筋活動

井尻朋人、浦辺幸夫、前田慶明、笛代純平、鈴木俊明

運動器リハビリテーション 32:183-190,2021

486) 観察対象への視覚的注意の向け方の違いにより脊髄前角細胞の興奮性は変化する

高崎浩壽、末廣健児、石濱崇史、鈴木俊明

臨床神経生理学. 49 : 119-123, 2021